

第3次加須市生涯学習推進計画

～ 学びから未来へつなぐ人づくり ～

令和3年3月

加 須 市

は じ め に

私たちを取り巻く社会環境は、少子化による人口減少や長寿化の進展に加え、経済格差の進行、地域コミュニティの希薄化や家庭・地域での教育力の低下など、大きな変化とともに様々な問題に直面しております。

こうした中、市民の皆様の生涯学習活動を推進することは、自己の生活を豊かにするとともに、学びを通じた仲間づくりや人と人とのつながり、さらには学習の成果を活かしたまちづくり・地域づくりへの進展が期待されます。

このたび策定いたしました「第3次加須市生涯学習推進計画」は、「学びから未来へつなぐ人づくり」を基本理念に、これからの社会環境の変化に対応できる10年・20年先の未来へつなぐ生涯学習による人づくりを、市民の皆様とともに目指すものでありますので、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました加須市生涯学習推進会議委員の皆様をはじめ、関係各位に深く感謝を申し上げます。

加須市長

大橋 良一



市民一人ひとりがその生涯にわたり自らの興味や関心に沿って学んで教養を高めるとともに、その学びを通じて新たなつながりや交流の輪を広げ、学んだことを地域で活かすことができる生涯学習社会の実現が求められております。

このたび策定しました「第3次加須市生涯学習推進計画」は、前計画を検証するとともに、新たな基本目標を据えるなど見直しも行い、歴史や文化、地域コミュニティが豊かな加須市の発展を目指してまいります。今後も市民の皆様が生涯学習活動を通して、笑顔になれる・魅力を実感できる施策や事業を推進してまいります。

結びに、市民意識調査で貴重なご意見をいただきました市民の皆様から感謝を申し上げますとともに、教育行政推進のため、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

加須市教育委員会

教育長 渡邊 義昭



目 次

第1章 計画の概要	1
1 策定の趣旨	
2 計画の位置付け	
3 計画期間	
第2章 生涯学習に関する市民意識調査の結果	4
1 市民意識調査の方法	
2 調査項目	
3 調査結果	
第3章 生涯学習を推進するうえでの今後の課題	18
第4章 基本理念と基本目標	21
第5章 施策の体系	25
施策の体系図	
第6章 基本目標の実現に向けた施策	28
基本目標1 生涯学習活動の推進	28
施策1 生涯学習機会の充実	
施策2 生涯学習環境の整備・充実	
基本目標2 芸術文化の振興	37
施策1 芸術文化活動の振興	
施策2 「加須の偉人」の顕彰	
基本目標3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成	40
施策1 文化財の積極的な保存・活用の推進	
基本目標4 読書活動の推進	44
施策1 子ども読書活動の推進	
施策2 市民の読書活動の推進	
基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組の推進	47
施策1 家庭教育の支援	
施策2 青少年の健全育成	
施策3 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進	
施策4 人権教育の推進	
第7章 計画の推進・評価体制	51
資 料	53

第1章 計画の概要

1 策定の趣旨

生涯学習とは、市民一人ひとりが行う学習のみならず、社会教育や学校教育において行われる様々な学習活動を含め、あらゆる機会、あらゆる場所において、だれもが生涯にわたり豊かな人生を送ることができるよう学習活動を行うことです。

近年の人口減少や少子化・長寿化の進行、ICT化の進展など、社会情勢の変化に伴い、個人の生き方や価値観にも多様化が進み、様々な生涯学習ニーズへの対応が求められます。

このような中、本市では、平成24年1月に「第1次加須市総合振興計画」が策定され、将来都市像である『水と緑と文化の調和した元気都市 かぞ』の実現に向けた取り組みの中で、同年3月に「第1次加須市生涯学習推進計画」を策定し、生涯学習関連の施策を推進してきました。

平成27年12月には加須市総合教育会議での協議を踏まえて、本市の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱となる「加須市人づくり宣言～教育大綱～」を制定し、教育の目的を「人づくり」と捉え、次の三つの市民の姿を目指して邁進することを宣言しました。

- 一、未来を担い社会で活躍する人
- 一、郷土を愛し地域を支える人
- 一、夢を持ち生涯をはつらつと暮らす人

また、平成29年3月には、総合振興計画の部門別計画として、「加須市人づくり宣言～教育大綱～」の具現化を目指す「加須市人づくりプラン」を策定しました。

さらに、平成29年12月に、加須市人づくり宣言や加須市人づくりプランを踏まえて、「第2次加須市生涯学習推進計画」を策定し、生涯学習関連施策を推進してきました。

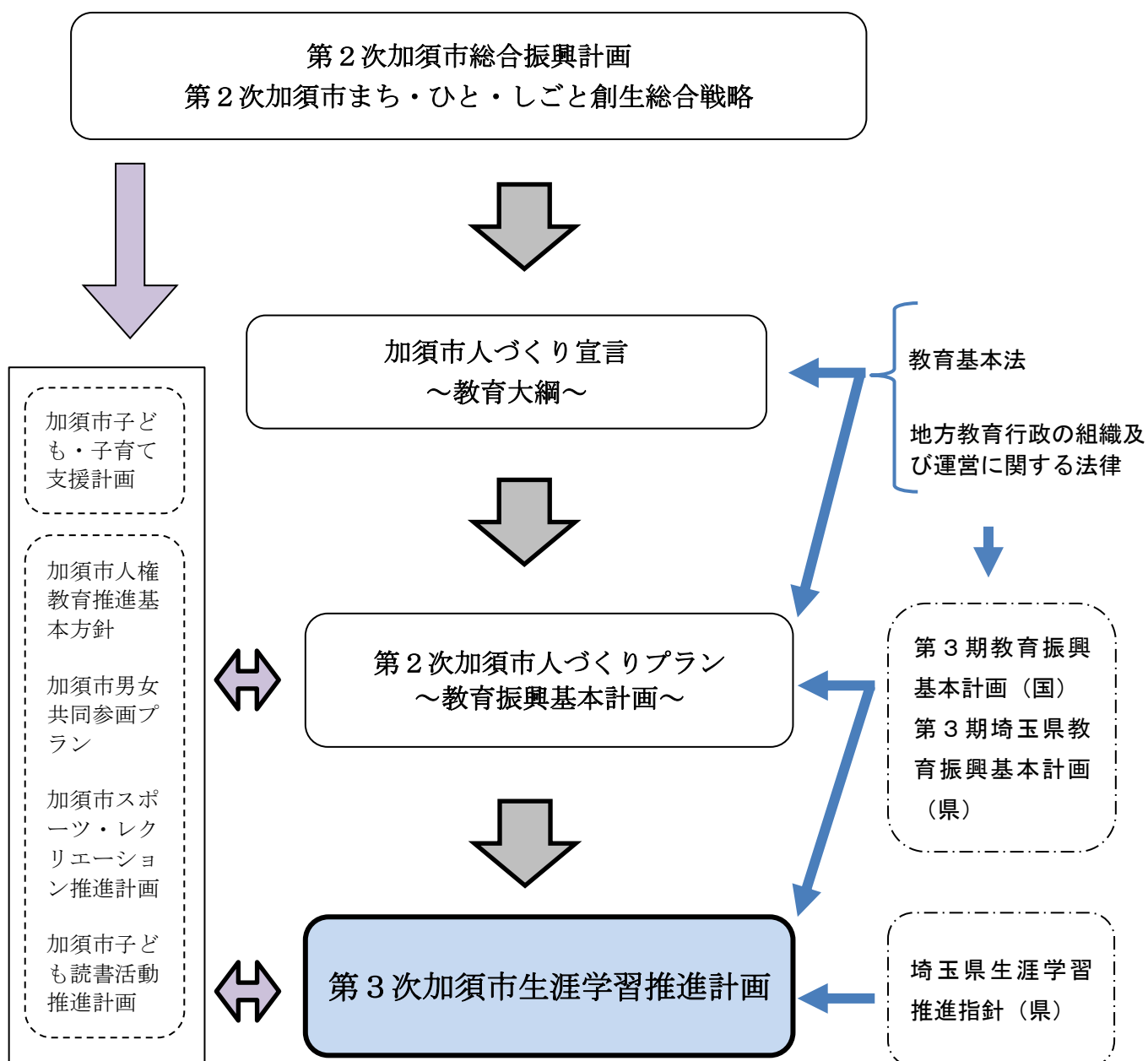
そして、令和3年3月に新たに策定した「第2次加須市総合振興計画」とこれを踏まえて策定した「第2次加須市人づくりプラン」に基づいて、「第3次加須市生涯学習推進計画」を策定しました。

「第3次加須市生涯学習推進計画」では、これまで取り組んできた施策を評価し、その成果を活かしながら、社会環境の変化や個人の価値観や学習ニーズの多様化等をふまえて、本市の生涯学習施策をより総合的・計画的に推進するため、新たな指針として策定したものです。

2 計画の位置付け

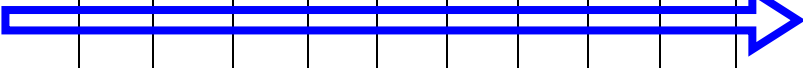
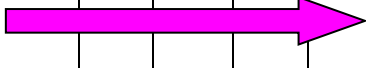
本計画は、第2次加須市総合振興計画の部門計画として、「加須市人づくりプラン」を踏まえて関連する「加須市スポーツ・レクリエーション推進計画」や「加須市子ども読書活動推進計画」などの各種計画との整合性を図りつつ、策定するものです。

また、「加須市の生涯学習活動に関する調査」の結果を踏まえつつ、社会的背景や地域特性を考慮しております。



3 計画期間

本プランの計画期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

年 度 計 画	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13 以降
第2次総合振興計画 基本構想											
第2次総合振興計画 前期基本計画											
加須市人づくり宣言 ～教育大綱～											
第2次加須市 人づくりプラン											
第3次加須市 生涯学習推進計画											

第2章 生涯学習に関する市民意識調査の結果

1 市民意識調査の方法

『加須市の生涯学習活動に関する調査』を行い、回答のあった「生涯学習活動に関する調査」をグラフ化したものです。

令和2年1月実施

調査対象：市内在住18歳以上80歳以下の市民

対象数：1,000人

回答者：351人（回収率35.1%）

回答方法：郵送

2 調査項目

	項 目	前回調査
問1	余暇時間の過ごし方と生涯学習について	
(1)	余暇時間の過ごし方	—
(2)	生涯学習の目的について	○
(3)	生涯学習に取り組むにあたっての学習方法について	○
(4)	生涯学習の取り組み内容について	○
(5)	生涯学習を実践している場所について	○
問2	学習機会の提供について	
(1)	学習上の問題について	○
(2)	学習やセミナー・講座などに期待するものについて	○
問3	学習情報・学習相談について	
(1)	生涯学習に関する情報収集について	○
(2)	生涯学習に関する相談について	○
問4	学習成果について	
(1)	学習成果の活かし方について	○
問5	学習費用について	
(1)	生涯学習活動を行うにあたり1か月あたりの自己負担について	○
問6	公民館や文化・学習センターの利用について	
	公民館や文化・学習センターの利用について	○

※文中に「前回」とあるのは、平成28年2月に実施した同様趣旨の調査結果です。

※端数調整の結果、回答の構成比合計が100%にならない場合があります。

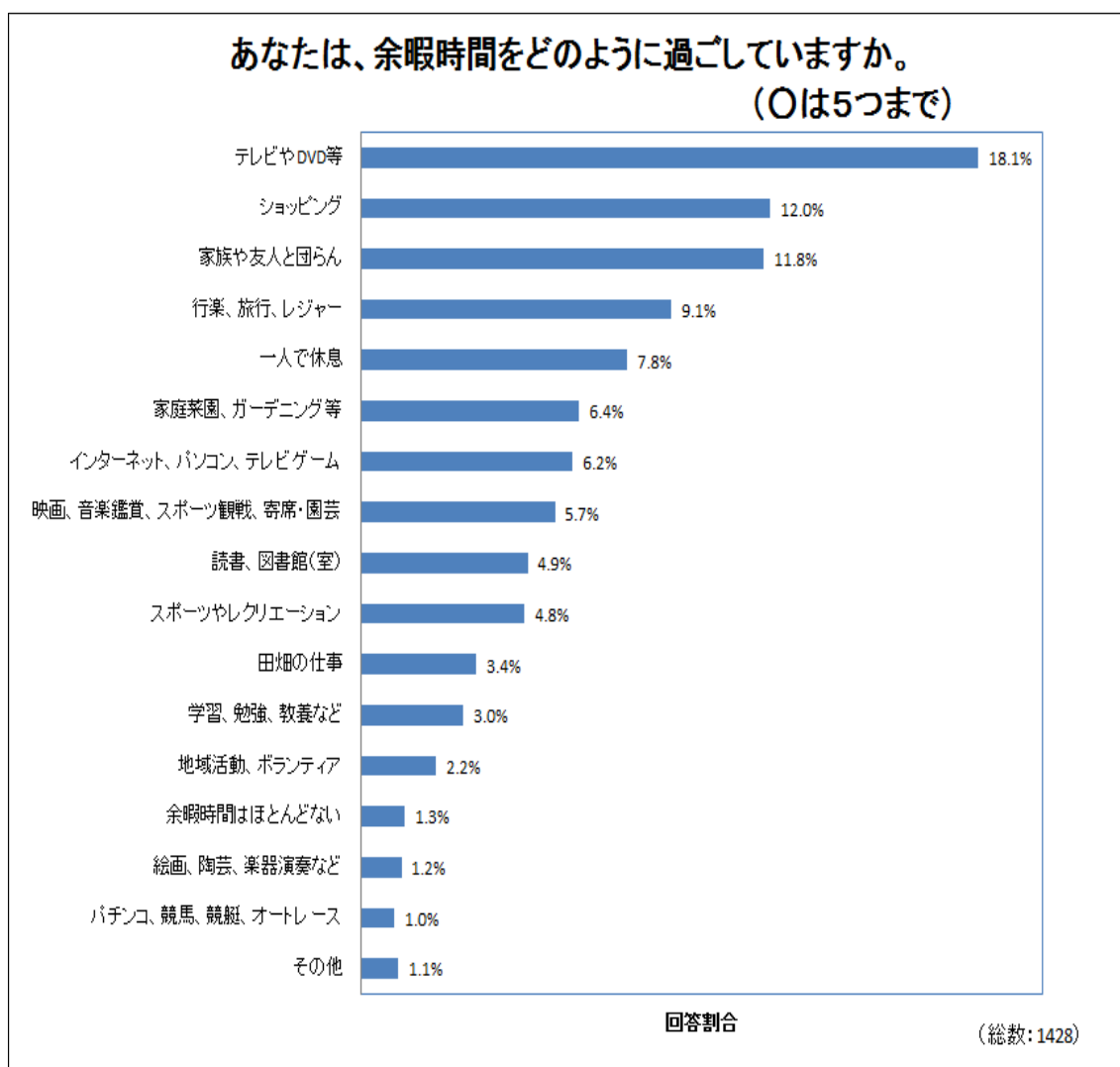
3 調査結果

問1 余暇の過ごし方と生涯学習について

(1) 余暇時間の過ごし方

「テレビやDVD等」(18.1%)、「ショッピング」(12.0%)、「家族や友人と団らん」(11.8%)、が10%を超えています。「絵画、陶芸、楽器演奏など」(1.2%)、「パチンコ、競馬、競艇、オートレース」(1.0%)などが下位となっています。

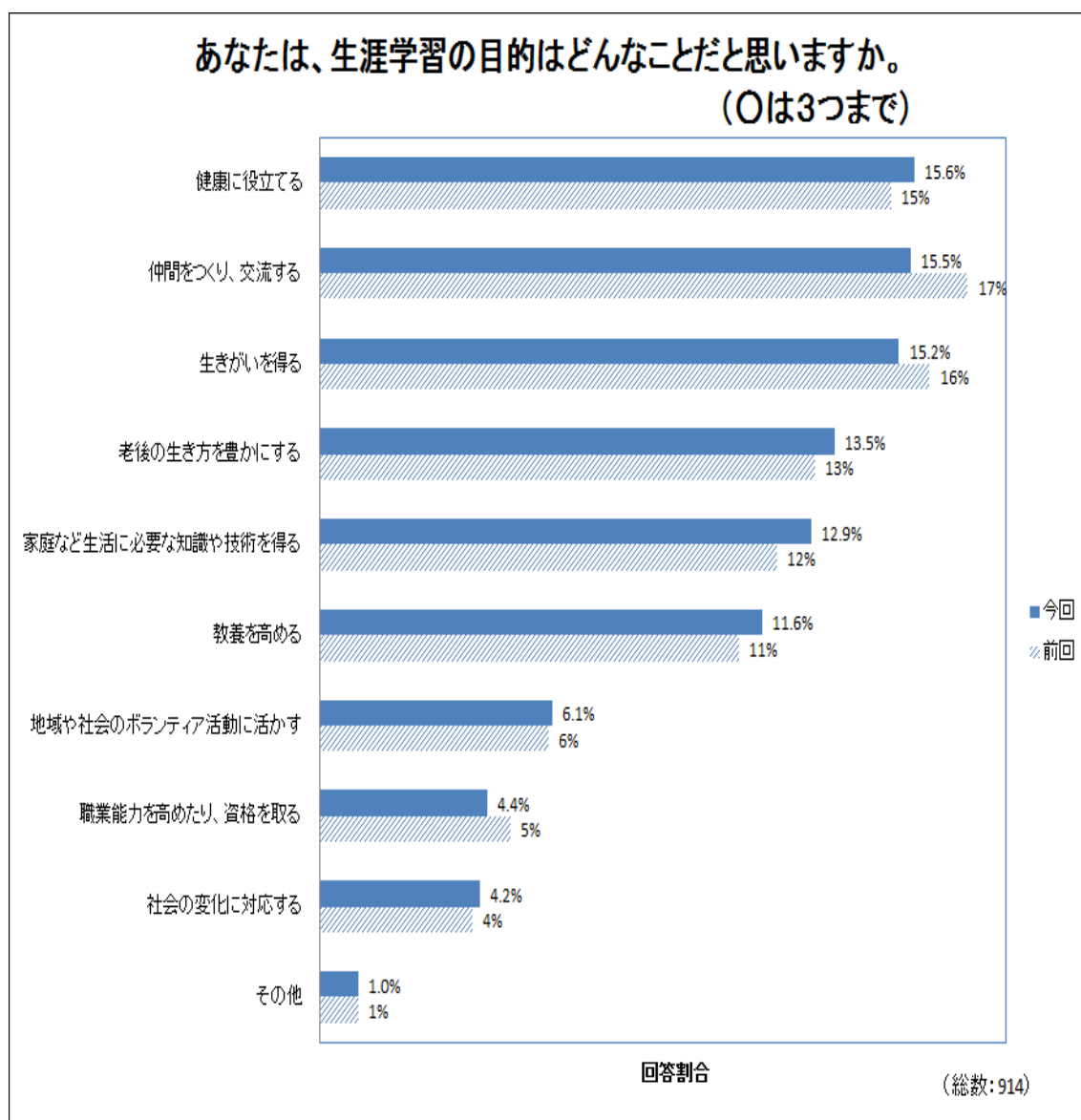
回 答 項 目	構成比	順 位
テレビやDVD等	18.1%	1位
ショッピング	12.0%	2位
家族や友人と団らん	11.8%	3位
行楽、旅行、レジャー	9.1%	4位
一人で休息	7.8%	5位



(2) 生涯学習の目的について

生涯学習の目的は、「健康に役立てる」(15.6%)、「仲間をつくり、交流する」(15.5%)が多くなっています。「職業能力を高めたり、資格を取る」(4.4%)、「社会の変化に対応する」(4.2%)などが下位となっています。

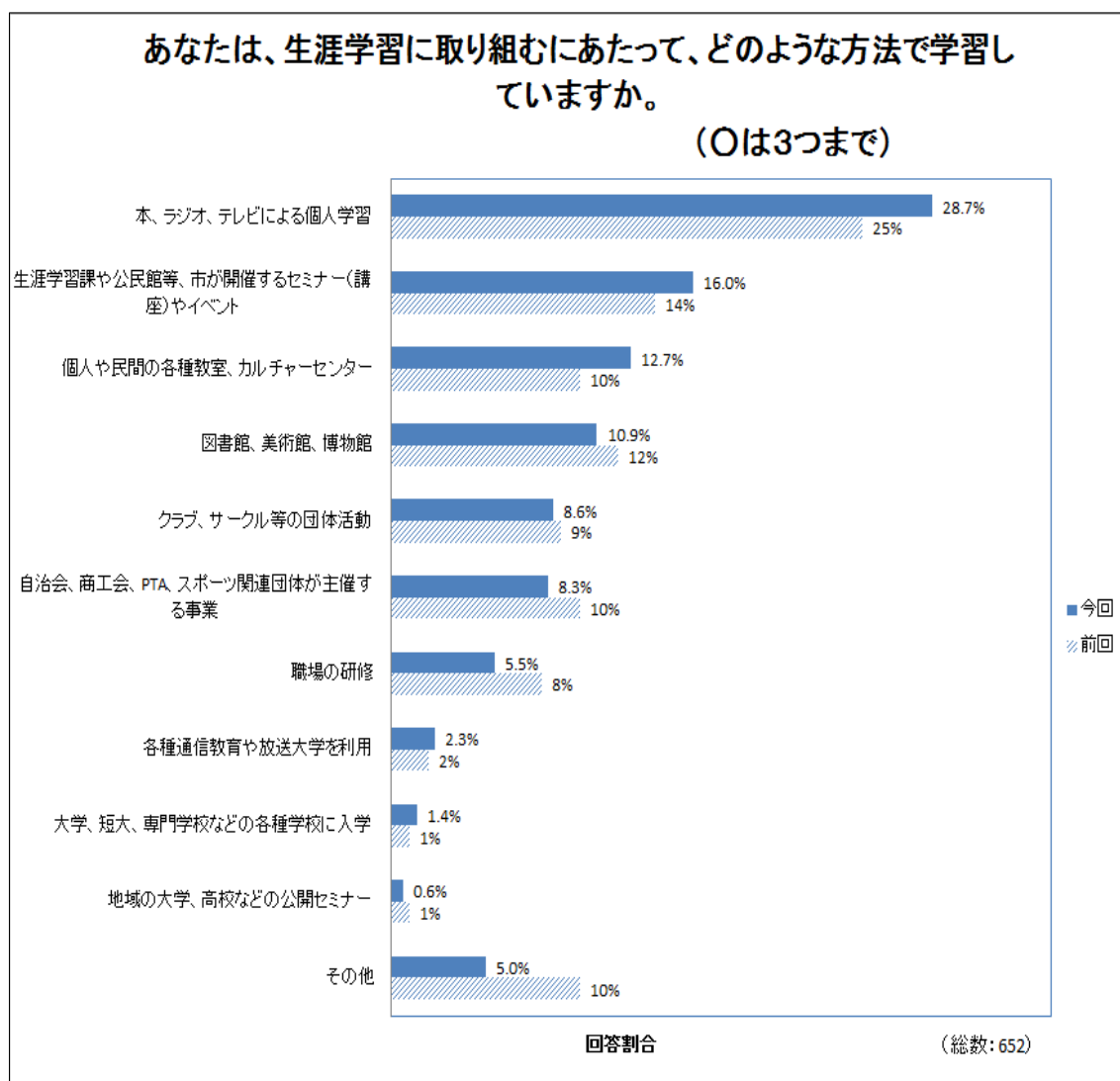
回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
健康に役立てる	15.6%	1 位	3 位
仲間をつくり、交流する	15.5%	2 位	1 位
生きがいを得る	15.2%	3 位	2 位
老後の生き方を豊かにする	13.5%	4 位	4 位
家庭など生活に必要な知識や技術を得る	12.9%	5 位	5 位



(3) 生涯学習に取り組むにあたっての学習方法について

「本、ラジオ、テレビによる個人学習」(28.7%)が1位となり、2位に大きく差をつけています。それに対して、「大学、短大、専門学校などの各種学校に入学」(1.4%)、「地域の大学、高校などの公開セミナー」(0.6%)といった方法で取り組む人は少なく、個人で学習しようとする人が多い結果となっています。

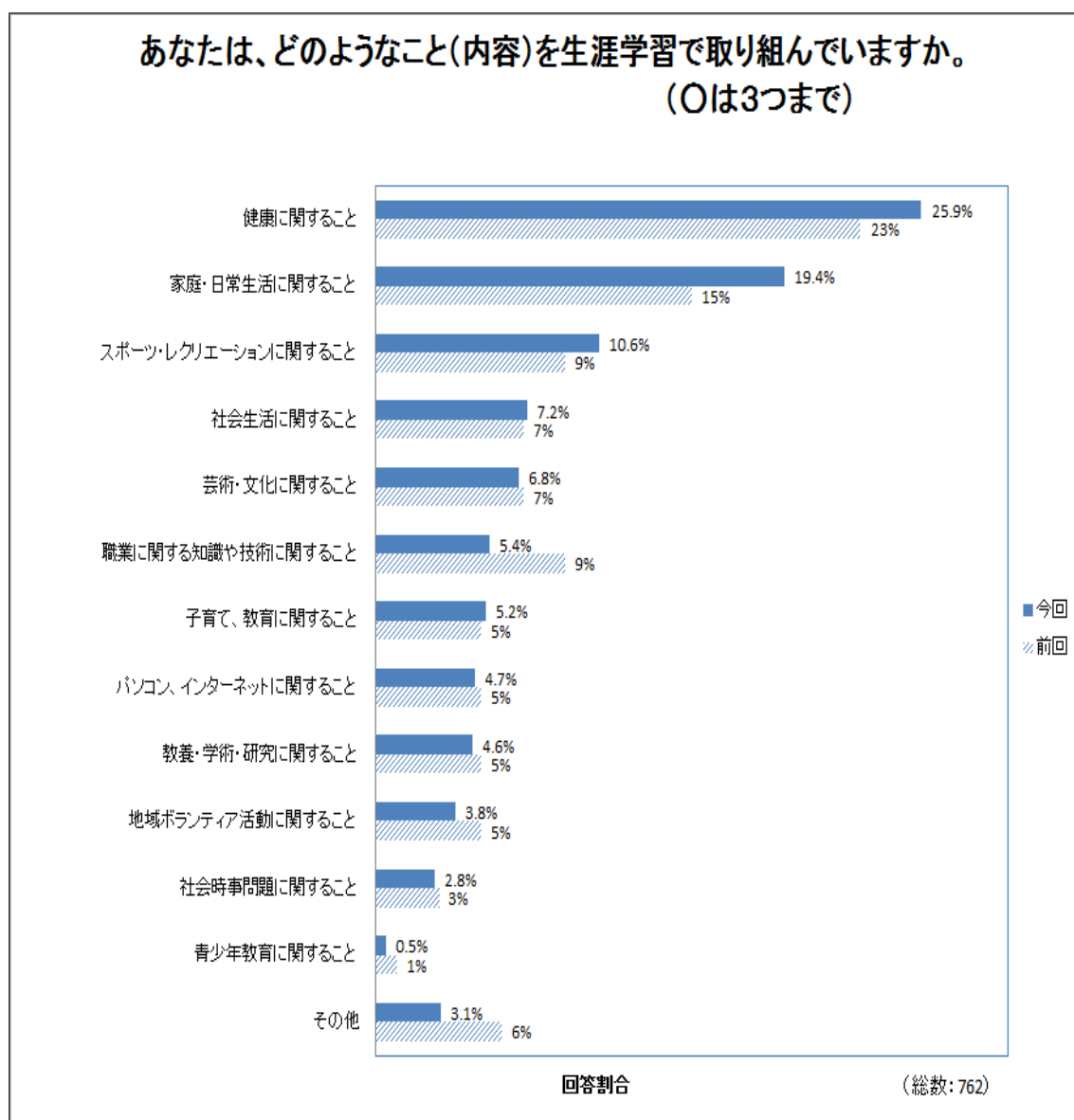
回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
本、ラジオ、テレビによる個人学習	28.7%	1 位	1 位
生涯学習課や公民館等、市が開催するセミナー（講座）やイベント	16.0%	2 位	2 位
個人や民間の各種教室、カルチャーセンター	12.7%	3 位	4 位
図書館、美術館、博物館	10.9%	4 位	3 位
クラブ、サークル等の団体活動	8.6%	5 位	6 位



(4) 生涯学習の取り組み内容について

取り組んでいる内容としては、「健康に関すること」(25.9%)、「家庭・日常生活に関すること」(19.4%)、「スポーツ・レクリエーションに関すること」(10.6%)が多く、健康と家庭等の日常生活に密接に関わる部分が高い値となっています。

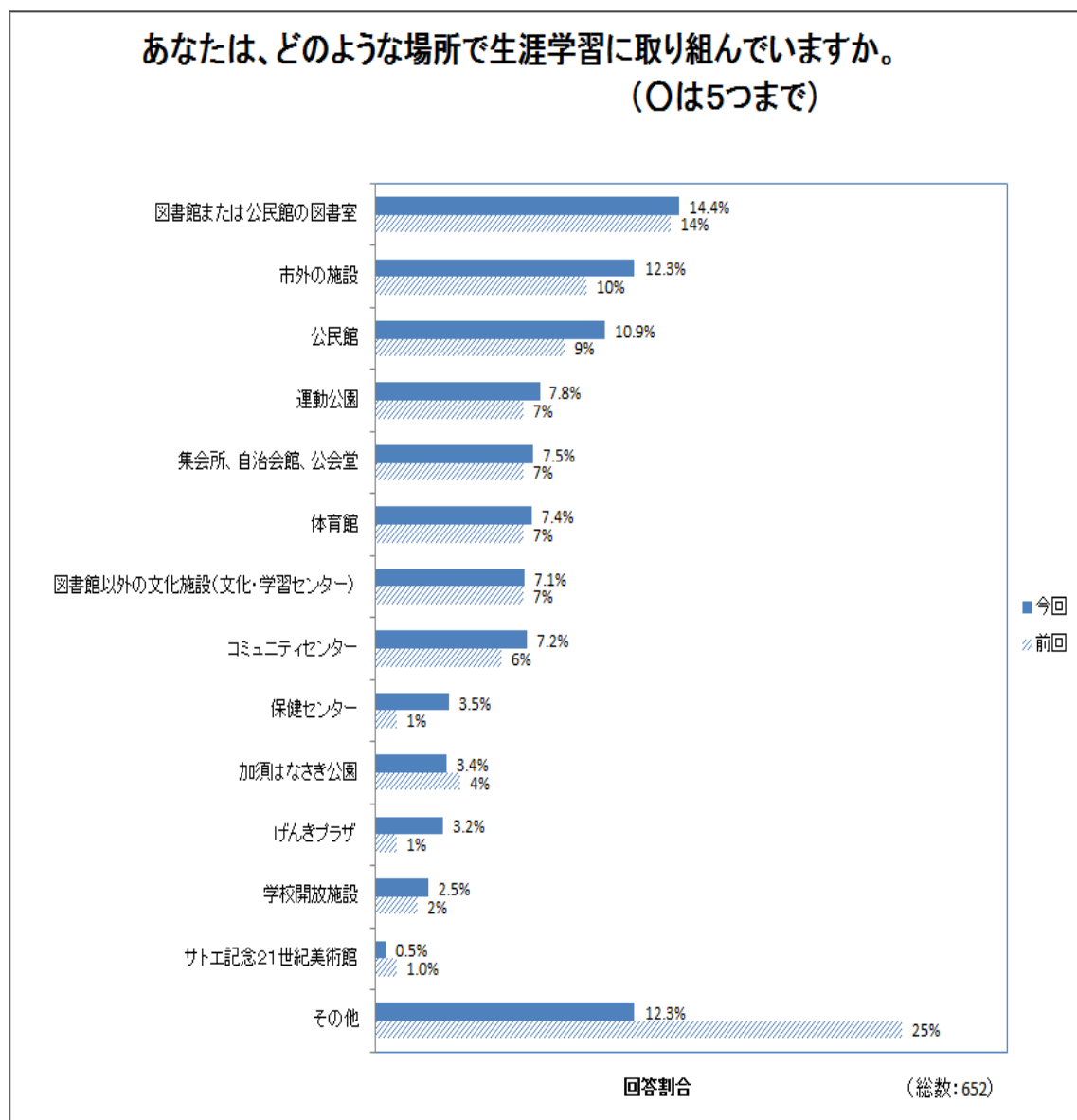
回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
健康に関すること	25.9%	1 位	1 位
家庭・日常生活に関すること	19.4%	2 位	2 位
スポーツ・レクリエーションに関すること	10.6%	3 位	4 位
社会生活に関すること	7.2%	4 位	5 位
芸術・文化に関すること	6.8%	5 位	6 位



(5) 生涯学習を実践している場所について

「図書館または公民館の図書室」(14.4%)が最も多い結果となり、次いで「市外の施設」(12.3%)となっています。7%台の平均値の回答が多く、さまざまな場所で生涯学習が行われていることがわかります。

回 答 項 目	構成比	順 位	順 位
図書館または公民館の図書室	14.4%	1 位	1 位
市外の施設	12.3%	2 位	2 位
公民館	10.9%	3 位	3 位
運動公園	7.8%	4 位	7 位
集会所、自治会館、公会堂	7.5%	5 位	4 位

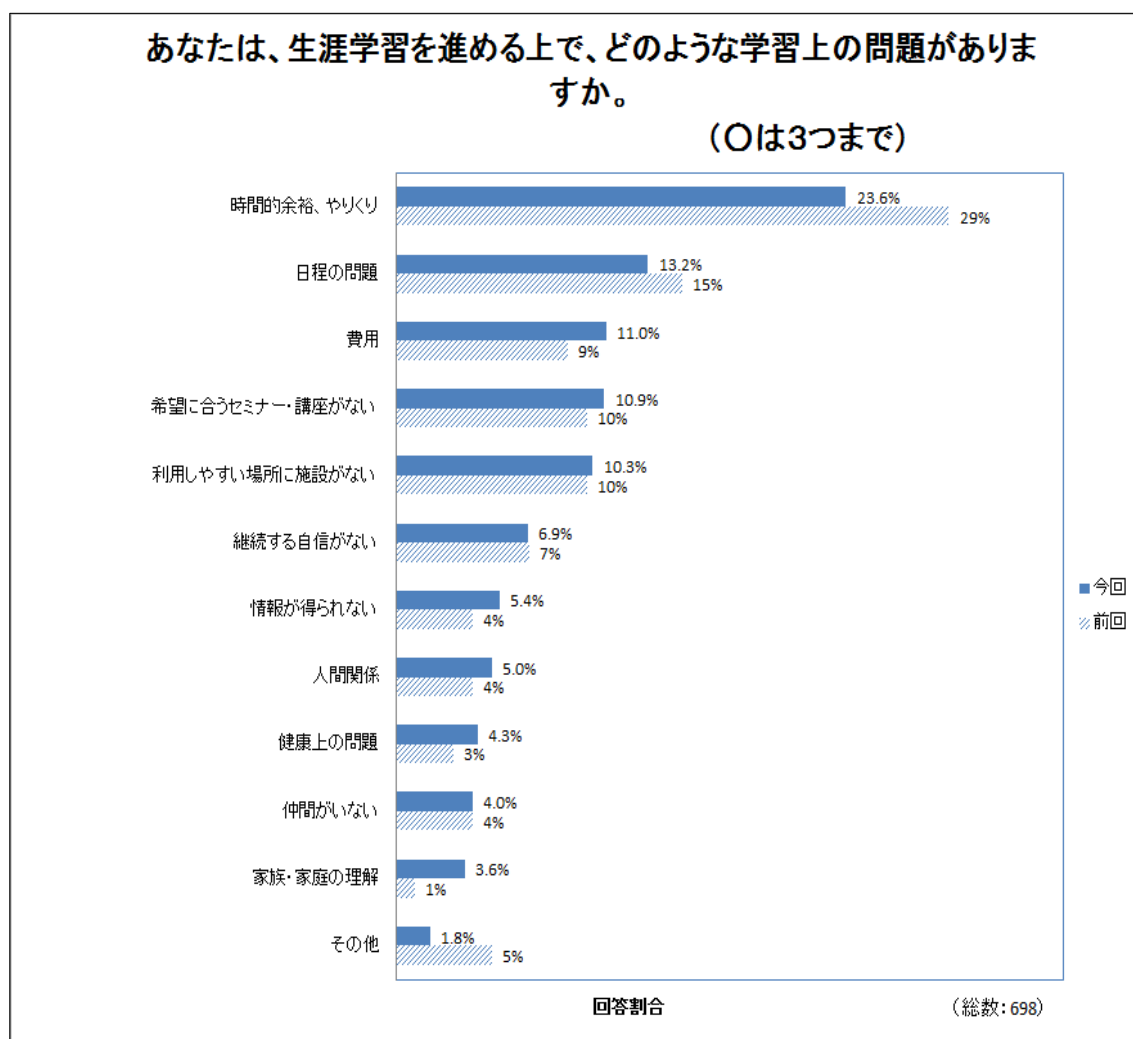


問2 学習機会の提供について

(1) 学習上の問題について

学習上の問題としては、「時間的余裕、やりくり」(23.6%)、「日程の問題」(13.2%)が多く、日程的・時間的な問題が大きいことが分かります。また、「希望に合うセミナー・講座がない」(10.9%)、「利用しやすい場所に施設がない」(10.3%)のように、学習環境が障害となっている人もいます。

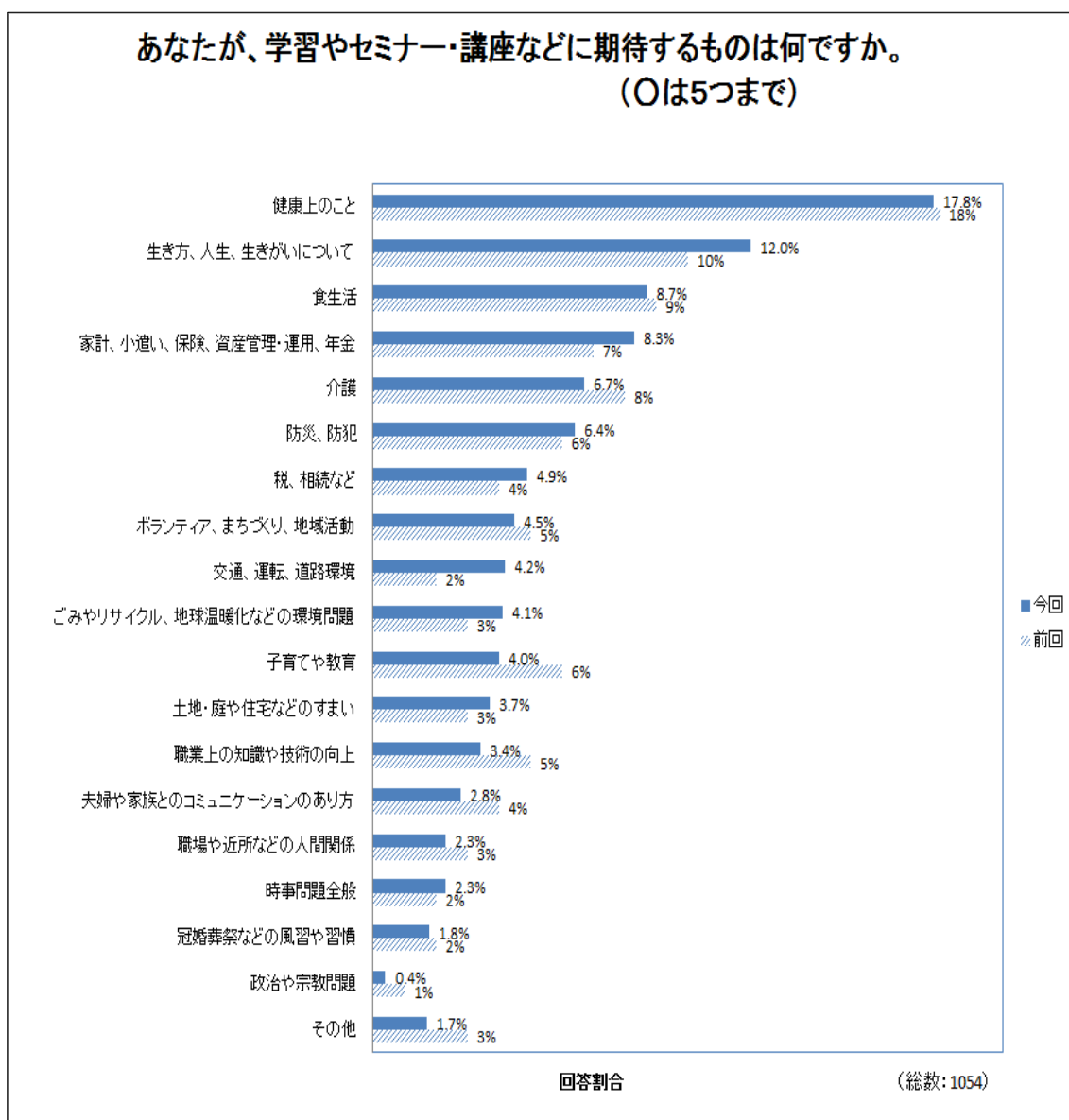
回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
時間的余裕、やりくり	23.6%	1 位	1 位
日程の問題	13.2%	2 位	2 位
費用	11.0%	3 位	5 位
希望に合うセミナー・講座がない	10.9%	4 位	4 位
利用しやすい場所に施設がない	10.3%	5 位	3 位



(2) 学習やセミナー・講座などに期待するものについて

学習やセミナー・講座に期待するものは、「健康上のこと」(17.8%)、「生き方、人生、生きがいについて」(12.0%)が多くなっています。日常生活に密接に関わる部分が高い値となっています。

回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
健康上のこと	17.8%	1 位	1 位
生き方、人生、生きがいについて	12.0%	2 位	2 位
食生活	8.7%	3 位	3 位
家計、小遣い、保険、資産管理・運用、年金	8.3%	4 位	5 位
介護	6.7%	5 位	4 位

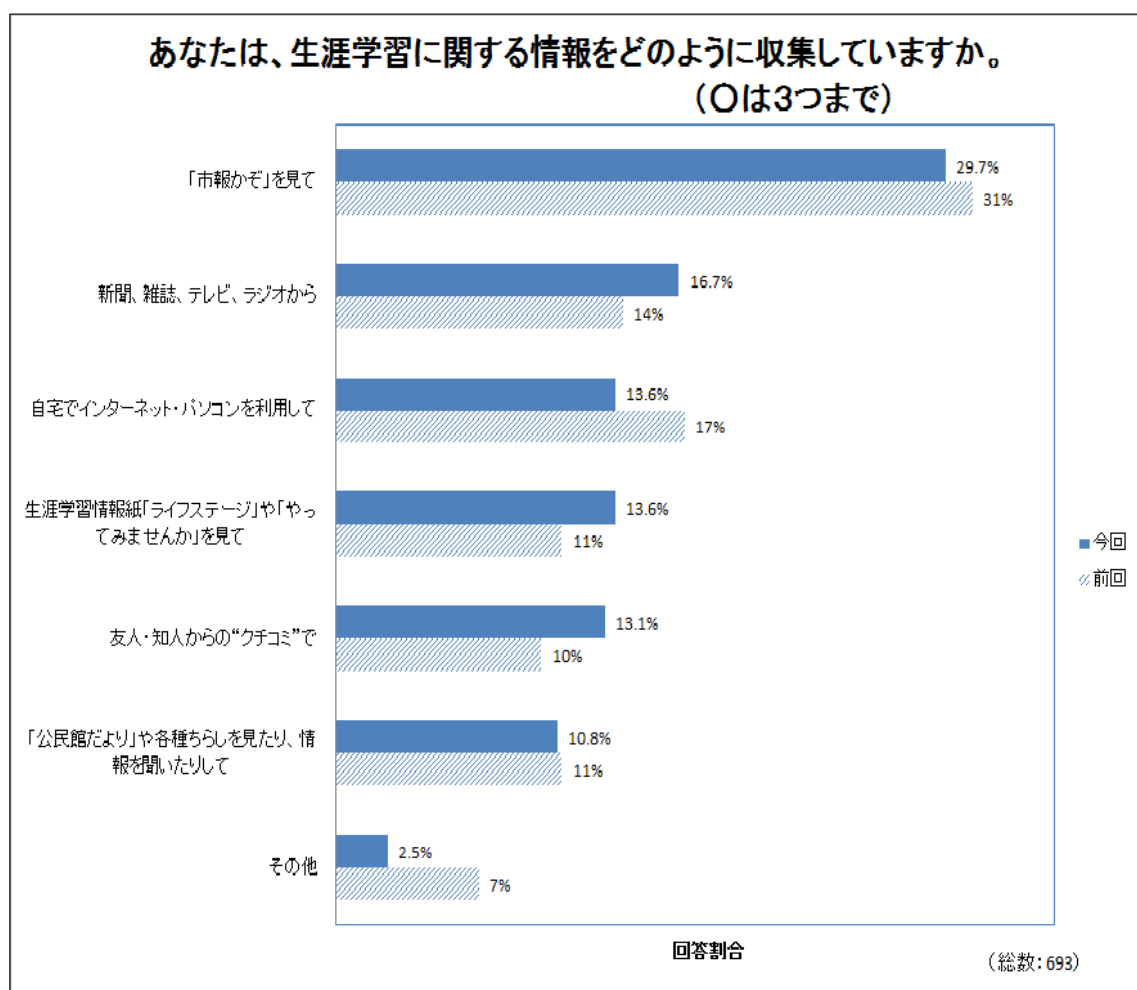


問3 学習情報・学習相談について

(1) 生涯学習に関する情報収集について

生涯学習に関する情報収集は、『市報かぞ』を見て」が 29.7%と最も高い結果となり、「生涯学習情報紙『ライフステージ』や『やってみませんか』を見て」(13.6%) が5位から3位へと順位をあげ、情報誌の活用率が向上したことが分かります。

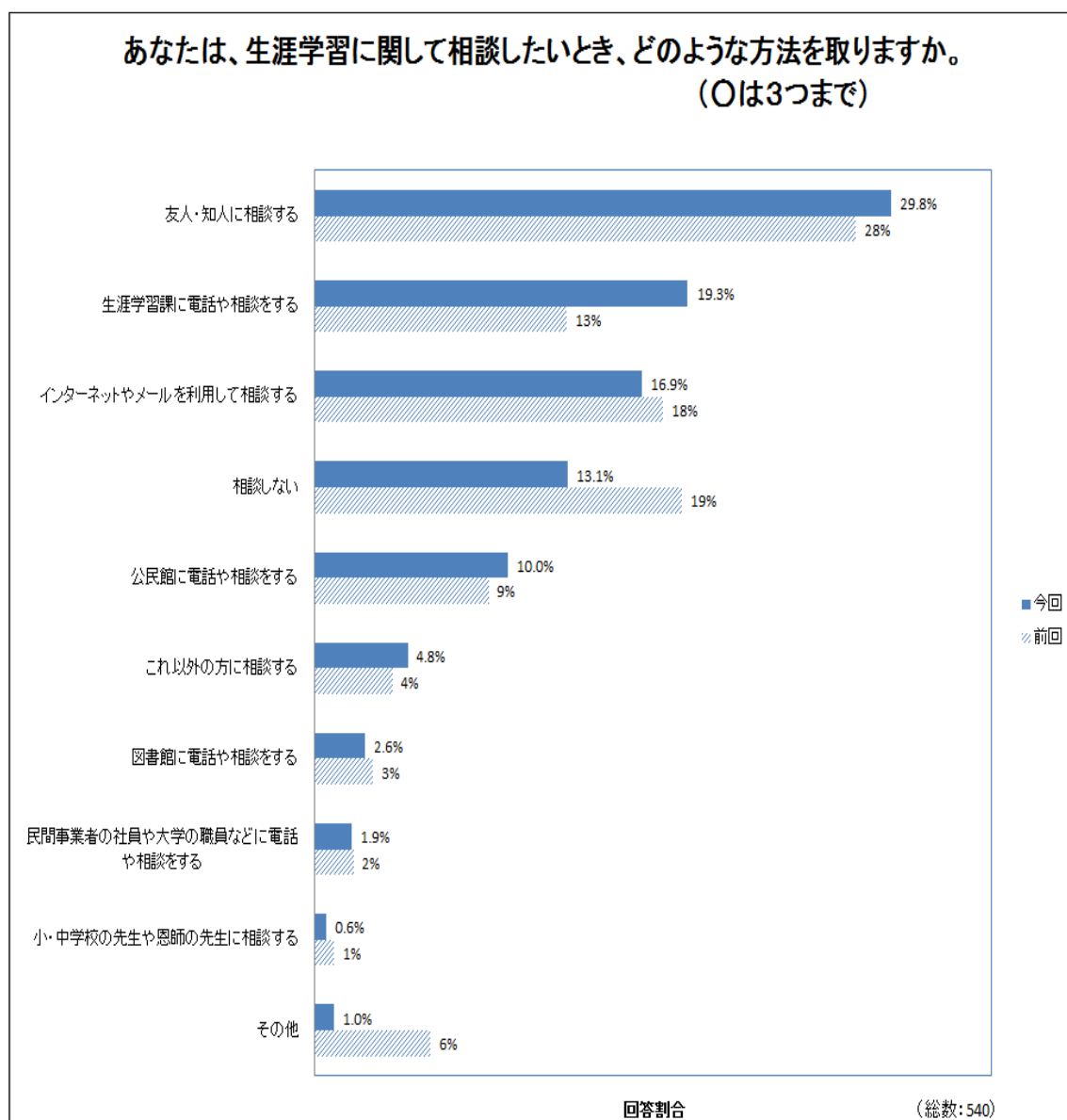
回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
「市報かぞ」を見て	29.7%	1 位	1 位
新聞、雑誌、テレビ、ラジオから	16.7%	2 位	3 位
自宅でインターネット・パソコンを利用して	13.6%	3 位	2 位
生涯学習情報紙「ライフステージ」や「やってみませんか」を見て	13.6%	3 位	5 位
友人・知人からの“クチコミ”で	13.1%	5 位	6 位



（2）生涯学習に関する相談について

相談方法は、「友人・知人に相談する」（29.8%）が最も高い値となりました。「生涯学習課に電話や相談をする」が4位から2位へと順位をあげ、「相談しない」の順位が2位から4位へと順位を下げています。

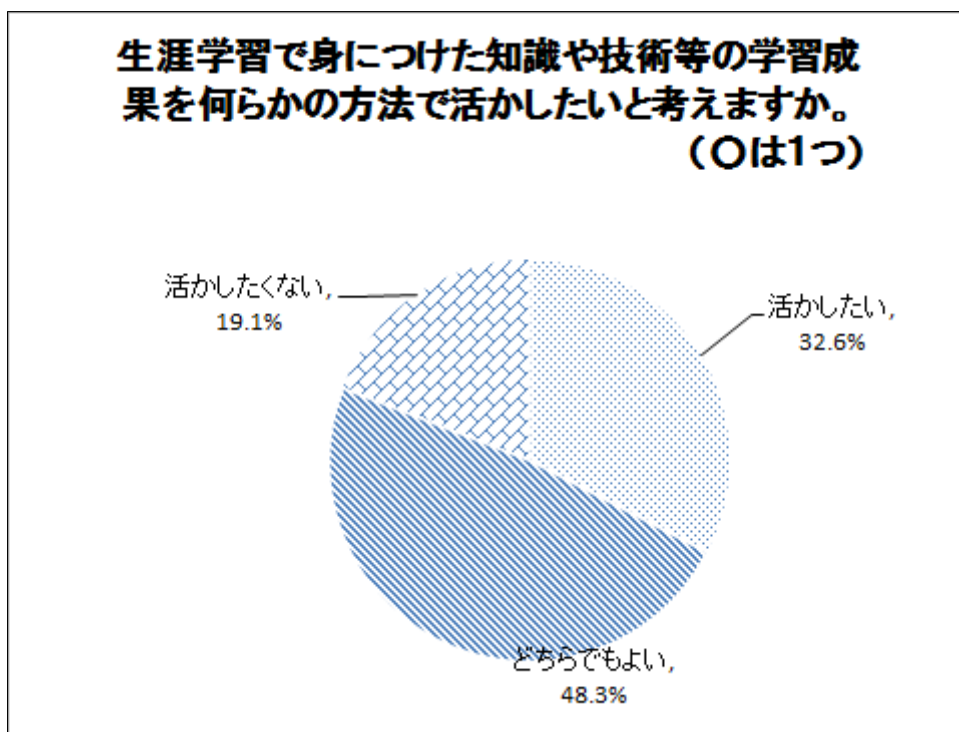
回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
友人・知人に相談する	29.8%	1 位	1 位
生涯学習課に電話や相談をする	19.3%	2 位	4 位
インターネットやメールを利用して相談する	16.9%	3 位	3 位
相談しない	13.1%	4 位	2 位
公民館に電話や相談をする	10.0%	5 位	5 位



問4 学習成果について

「活かしたい」(32.6%)、「どちらでもよい」(48.3%)を併せると8割の方が、学習成果を活かすことができる場があれば、活躍できると推測されます。

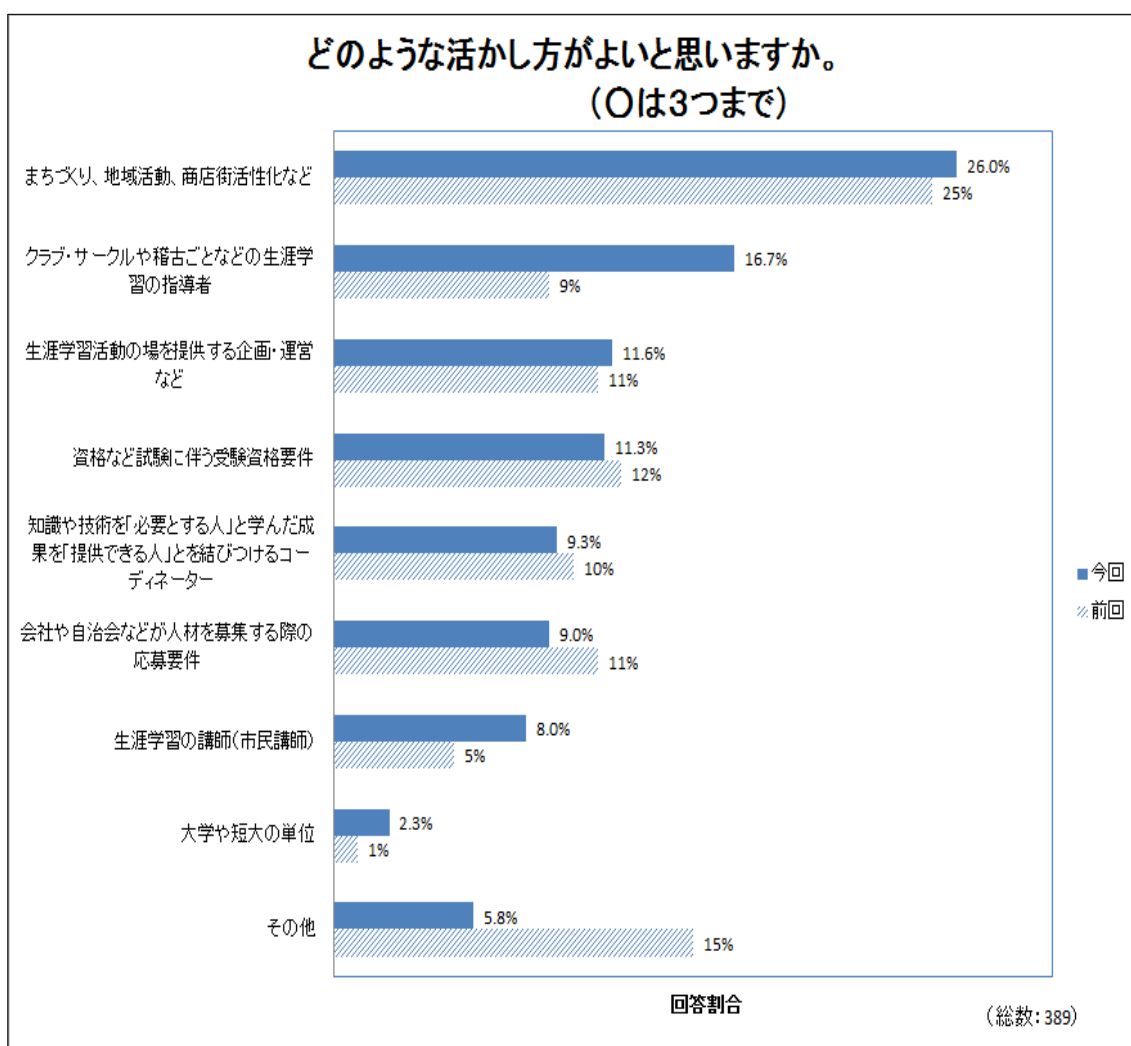
	回答数	構成比
活かしたい	104	32.6%
どちらでもよい	154	48.3%
活かしたくない	61	19.1%
合計	319	100.0%



①学習成果の活かし方について（「活かしたい」「どちらでもよい」の回答者）

学習成果の活かし方としては、「まちづくり、地域活動、商店街活性化など」（26.0%）が最も高い値となり、「クラブ・サークルや稽古ごとなどの生涯学習の指導者」（16.7%）、「生涯学習活動の場を提供する企画・運営など」（11.6%）のように、趣味や習い事のために活かすという考え方も強くあるようです。

回 答 項 目	構成比	順 位	前 回
まちづくり、地域活動、商店街活性化など	26.0%	1 位	1 位
クラブ・サークルや稽古ごとなどの生涯学習の指導者	16.7%	2 位	6 位
生涯学習活動の場を提供する企画・運営など	11.6%	3 位	3 位
資格など試験に伴う受験資格要件	11.3%	4 位	2 位
知識や技術を「必要とする人」と学んだ成果を「提供できる人」とを結びつけるコーディネーター	9.3%	5 位	5 位

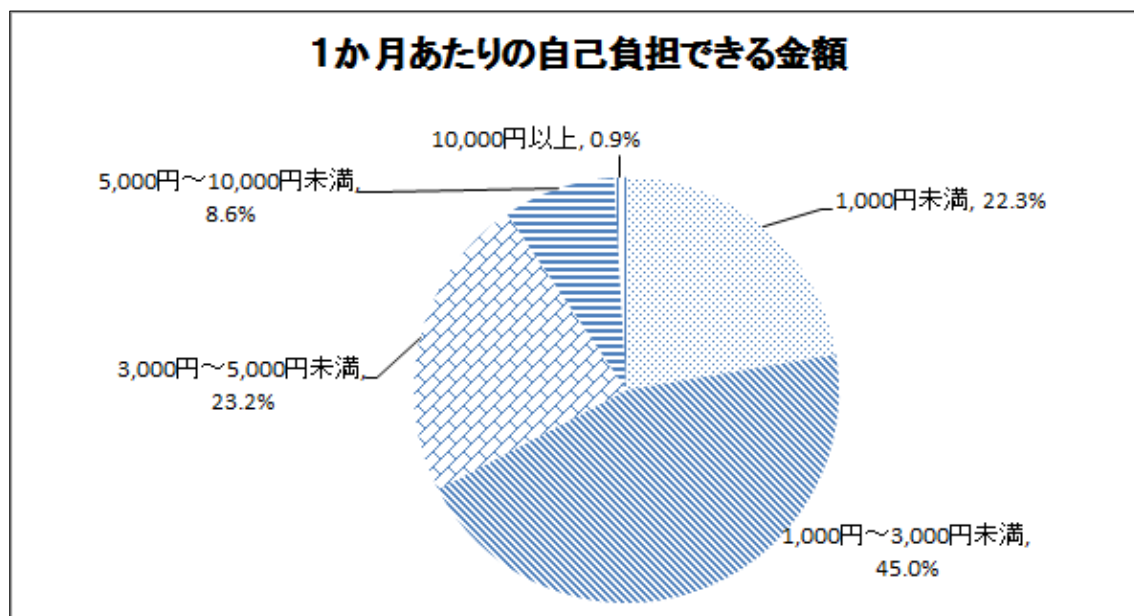


問5 学習費用について

(1) 生涯学習活動（サークルやクラブなど）を行うにあたり、1か月あたりの自己負担について

1か月あたりの自己負担できる金額としては、「1,000 円～3,000 円未満」（45.0%）が最も多く、次いで「3,000 円～5,000 円未満」（23.2%）となっています。

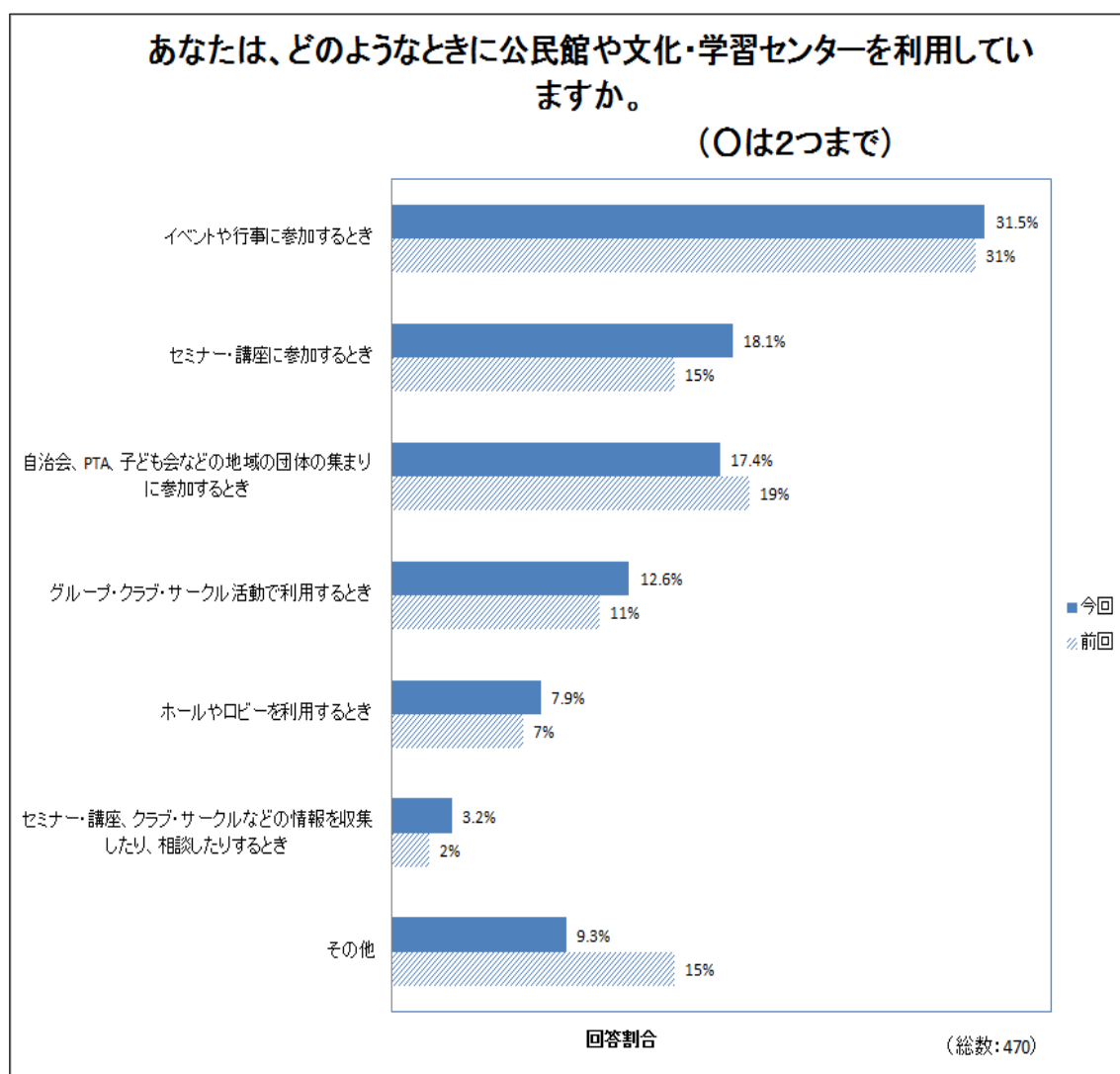
回 答 項 目	回答数	構成比
1,000 円未満	73	22.3%
1,000 円～3,000 円未満	147	45.0%
3,000 円～5,000 円未満	76	23.2%
5,000 円～10,000 円未満	28	8.6%
10,000 円以上	3	0.9%
合計	327	100.0%



問6 公民館や文化・学習センターの利用について

公民館や文化・学習センターを利用する状況としては、「イベントや行事に参加するとき」の31.5%が最も多く、「グループ・クラブ・サークル活動で利用するとき」は12.6%にとどまっています。

回 答 項 目	構成比	順 位	順 位
イベントや行事に参加するとき	31.5%	1 位	1 位
セミナー・講座に参加するとき	18.1%	2 位	3 位
自治会、PTA、子ども会などの地域の団体の集まりに参加するとき	17.4%	3 位	2 位
グループ・クラブ・サークル活動で利用するとき	12.6%	4 位	4 位
ホールやロビーを利用するとき	7.9%	5 位	5 位



第3章 生涯学習を推進するうえでの今後の課題

1 生涯学習活動の推進

(1) 学習情報の発信・充実

新たな生涯学習情報の発信手段として、SNSなどのソーシャルメディアを活用し、最新の情報を発信することが求められている中で、調査結果では約5割の方が『市報かぞ』、生涯学習情報紙『ライフステージ』、『やってみませんか』などの紙媒体から情報の収集を行っており、現行の発信方法を含めた情報発信の充実を図る必要があります。

また、生涯学習活動にあたっての学習方法については、約3割の方が「本・ラジオ・テレビによる個人学習」を行っていることから、生涯学習に関する情報を数多く発信することが生涯学習を始めるきっかけになり、学習活動のすそ野を広げることにつながることから、今後は、関係部署が連携し、市民の学習活動において必要とされる情報を収集・整理して提供していく必要があります。

(2) 学習機会の整備・充実

学習上の問題として、「時間的余裕、やりくり」が23.6%、「日程上の問題」が13.2%と順に多く、時間的・日程的な問題があり、特に働く世代にとっては、学習機会が十分に確保されているとはいえない状況です。

市民が求める生涯学習のニーズは多様化しており、生涯学習活動への参加意欲が潜在的に多い状況において、市民ニーズに沿った学習機会を提供することで、継続的に取り組む市民を増やす必要があります。

また、セミナー・講座に期待するものについては、「健康上のこと(17.8%)」など高い数値の項目から「ごみやリサイクル、地球温暖化などの環境問題(4.1%)」や「子育てや教育(4.0%)」など多岐にわたり、ニーズの多様化を考慮したテーマにて学習機会を提供する必要があります。

（３） 学習成果の活用

生涯学習活動で身につけた知識や技術などの学習成果について、「活かしたい」という方が、「活かしたくない」とする方より1.7倍の回答があるため、市民の豊かな知識や経験を伝える場を整える必要があります。また、その活かし方については、「まちづくり、地域活動、商店街活性化など」が26.0%、「生涯学習活動の場を提供する企画・運営など」が11.6%と地域のために学習成果を活かしたいという数値が高いことがわかります。

自分自身のために、自分らしく生きるために学ぶことは大切なことですが、シニア世代をはじめとする市民の豊かな知識や経験を地域の皆さんに伝え広めるなど、地域で活躍していただく場を提供することも必要です。

（４） 生涯学習関連施設の有効活用

公民館、文化・学習センター、市民プラザ、コミュニティセンター、加須未来館、郷土資料館、図書館などの生涯学習関連施設の利用を促進し、市民の学習環境の充実が必要です。

また、誰もが幅広く利用ができるよう公民館のコミュニティセンター化を進めて地域活動の拠点として重要な役割を果たすとともに、引き続き学習講座を充実させることで、市民に身近な生涯学習活動の場を充実することが必要です。

２ 芸術文化の振興

芸術文化は、人々の心に感動をもたらし、人生を豊かにするとともに、新たな創造や交流を生み出す力を持っています。文化芸術に触れる機会を市民に提供することは、充実した人生を送ることにもつながります。

今後も心の豊かさや生きがいを求めるための生涯学習ニーズが高まる中で、豊かな感性と創造力に富んだ芸術文化の振興を図る必要があります。

3 郷土愛を醸成する文化財の保存と活用

本市には、これまで培ってきた生活文化や歴史的資源、魅力などが数多く残されていることから、郷土の文化や伝統を次世代に継承することが必要です。

また、文化財は、貴重な郷土の自然・風土・歴史を理解するために欠かすことのできないものです。

国の重要無形民俗文化財「玉敷神社神楽」、県の天然記念物「加須の浮野とその植物」、市の天然記念物「オニバス自生地」や有形文化財「下總皖一肉筆楽譜」などこれら貴重な文化財に対し、市民が親しみをもち、身近に活用ができるよう調査研究と保存に努める必要があります。

このため、市民の郷土に対する理解を深め、郷土愛の醸成を図るために、郷土の文化や伝統を次世代に継承するとともに、文化財の公開・展示や説明板の設置など、貴重な文化財を広く紹介し、文化財の活用を通じた地域活性化に努めることも必要です。

4 読書活動の推進

近年の携帯情報端末やインターネットの普及による「読書離れ」が指摘される中、図書館の利用者数、貸出数ともに減少傾向にあります。子どもから大人まで幅広い世代で読書が身近なものとなり、習慣化するような環境づくりが必要です。

また、市民の多様な学習ニーズに対応し、図書資料の充実に努めるとともに、WiFi 環境の整備や図書資料のデジタル化を進めていく必要があります。

5 地域の教育力の向上

子どもたちが心豊かに健やかに育つためには、子どもたちが地域とかかわりながら、地域の特色を生かした社会体験活動に参加をしたり、子どもの保護者（PTA）同士が交流することなどが重要です。そこで、家庭・学校・地域が連携し、地域の教育力を高め、家庭・地域・学校が一体となって子どもを育てる環境を充実することが必要です。

また、子どもの豊かな人格形成を育むうえで、家庭教育は、重要な役割を果たしており、家庭の教育力を高めるために、今後も社会全体で家庭教育を支援し、家庭の教育力の向上を推進していく必要があります。

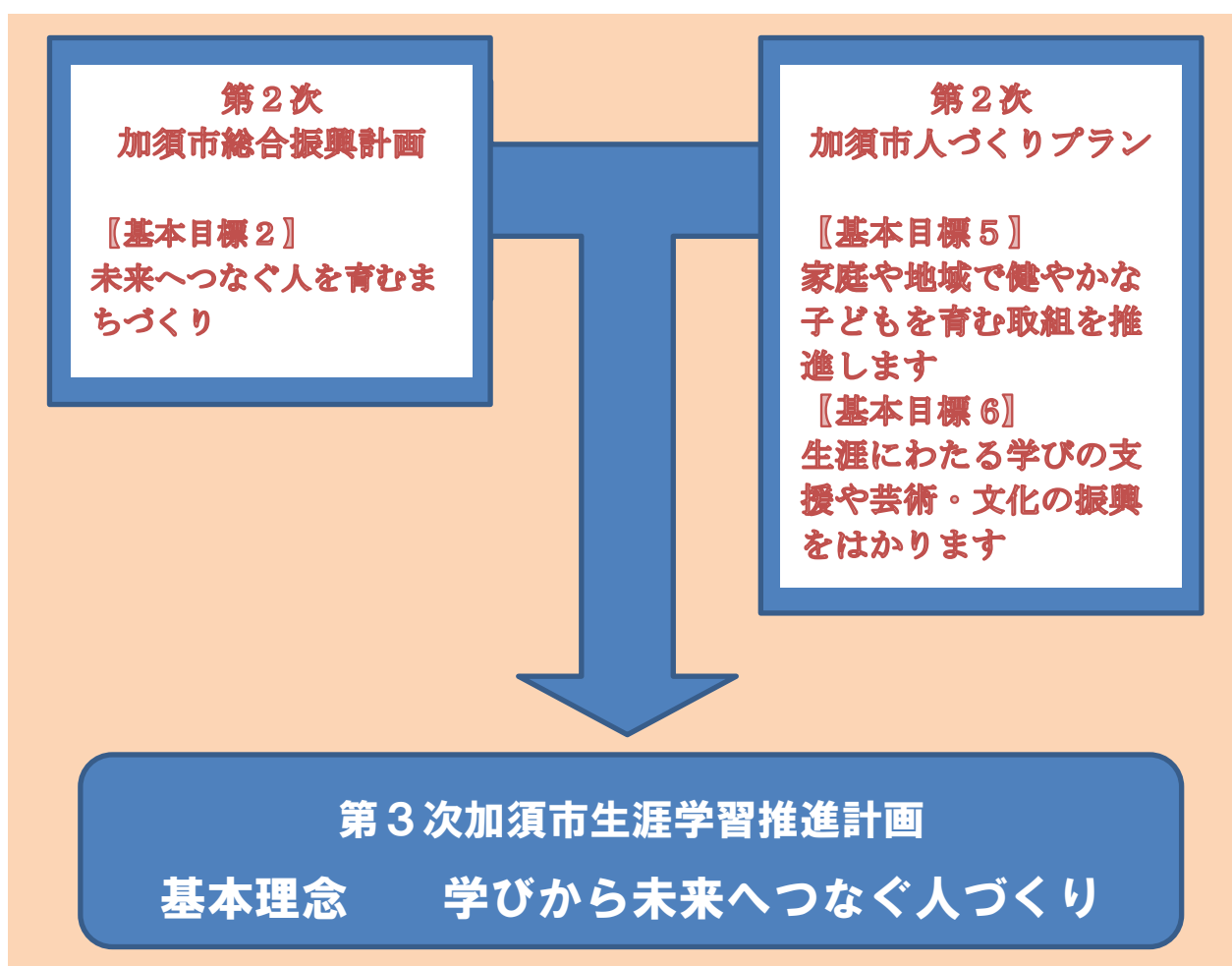
さらに、学校、家庭、地域及び関係機関が青少年の健全育成支援に関わることにより、子どもの健やかな成長・自立を促すために、家庭教育及び青少年健全育成に関する施策を充実していくことも必要です。

第4章 基本理念と基本目標

本市の自然、歴史、文化の中で育まれた地域環境のもとで、一人の市民として生涯にわたって何を学び、何ができるかを考え実行することで、その未来を拓いていくとともに、豊かな地域コミュニティづくりを進めるための生涯学習活動を実践していくことが重要です。また、国際化やICT化が進むこの時代に、「心」と「心」を結ぶコミュニケーションを充実させ、人と人とのつながりを大切にした学習活動が重要となります。

さらに、子供たちが心豊かに健やかに育つためには、家庭教育の充実支援が大切であり、家庭・学校・地域が連携するとともに、様々な年齢層が集い、幅広く学べる場を整備して市民の学習活動を推進し、地域の絆や地域のつながり、地域コミュニティの醸成を図ることが、今後さらに重要です。

そこで、本計画では、市民一人ひとりの生涯にわたる学習を支え、その学習成果を活かせる人づくりを図るため、これからの社会環境の変化に対応し、10年・20年先の未来へつなぐ生涯学習の人づくりを目指して、「学びから未来へつなぐ人づくり」を基本理念とします。



基本目標

加須市の生涯学習の現状を踏まえつつ、第3章の本市の主要課題の解決と、基本理念である「学びから未来へつなぐ人づくり」の具現化を掲げ、目指すべき生涯学習の実現のために次の5つの基本目標を設定し、これに基づき、施策を推進します。

「基本目標1 生涯学習活動の推進」、「基本目標2 芸術文化の振興」、「基本目標3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成」については、「第2次加須市生涯学習推進計画」から引き続き設定をすることで、全ての市民の学びを支援する学習環境の充実に取り組みます。

「基本目標4 読書活動の推進」は、生涯にわたる読書活動による人づくりやまちづくりの重要性を踏まえ、読書に親しむ環境づくりや読書の振興に向けた施策を進めます。

新たに推進する基本目標として、「基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組の推進」を追加し、家庭の教育力を高め、子どもの健やかな成長・自立を促すために、学校と連携して地域の教育力の向上を図ります。

基本目標1 生涯学習活動の推進

ライフスタイルや価値観の多様化により、オンライン講座や講座の動画配信をするなど市民一人ひとりの学習ニーズに応じた学習機会を提供するとともに、市民が生涯学習活動で学んだ知識や経験を発表する機会の充実や、地域社会に活かせる仕組みを整え、市民の生涯学習活動を推進します。

また、生涯学習に関する講座やイベントは、市民総合会館市民プラザかぞや各地域の文化・学習センター、公民館等様々な場所で開催されており、その情報を収集し、市民に提供していきます。

生涯学習の場として、生涯学習関連施設の連携を図り、それぞれの機能を生かした幅広い事業展開を推進して市民の学習機会を充実します。

市民の誰もが幅広く利用ができるよう公民館のコミュニティセンター化を推進し、地域コミュニティ活動の拠点として、また市民に身近な生涯学習活動の場を充実します。

基本目標2 芸術文化の振興

市民一人ひとりの豊かな感性・創造力をもった芸術文化の振興を図るため、青少年・高齢者・障がい者をはじめあらゆる市民の主体的な文化創作活動を支援するとともに、市民の誰もが優れた芸術文化に触れる機会の充実に努めます。

また、郷土の偉人を顕彰することにより、市民が地域の一員であることを再認識し、市民としての誇りや「ふるさと加須市」への愛着心を育みます。

基本目標3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

郷土加須市の歴史を伝える文化財を適切に保存し、次世代へ継承します。

考古資料は騎西郷土史料展示室（騎西城）を核とした施設に集約し、水と暮らしに関する民俗資料は北川辺郷土資料館を核とした施設に集約して保存し、展示公開します。

また、民俗芸能の伝承支援や文化財、歴史資料の調査・公開・展示を行うことで、市民が文化財に親しみ、その価値を深めていけるよう取り組むとともに、郷土愛の醸成と地域の活性化を図ります。

基本目標4 読書活動の推進

子どもが自主的な読書活動ができる環境を整備し、読書のきっかけづくりや読書活動の習慣化を図り、子どもの読書活動がより一層活発になるような取り組みを推進します。

また、読書活動に関する市民の多様なニーズに対応するため、他の公共図書館との連携・協力や利用者サービスの充実に図りながら、市民の読書活動を推進します。

基本目標5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組の推進

子どもたちが地域社会で健やかに育つためには、地域全体の教育環境の充実を図ることが必要であり、地域で子どもたちを育てる様々な取組を推進していきます。

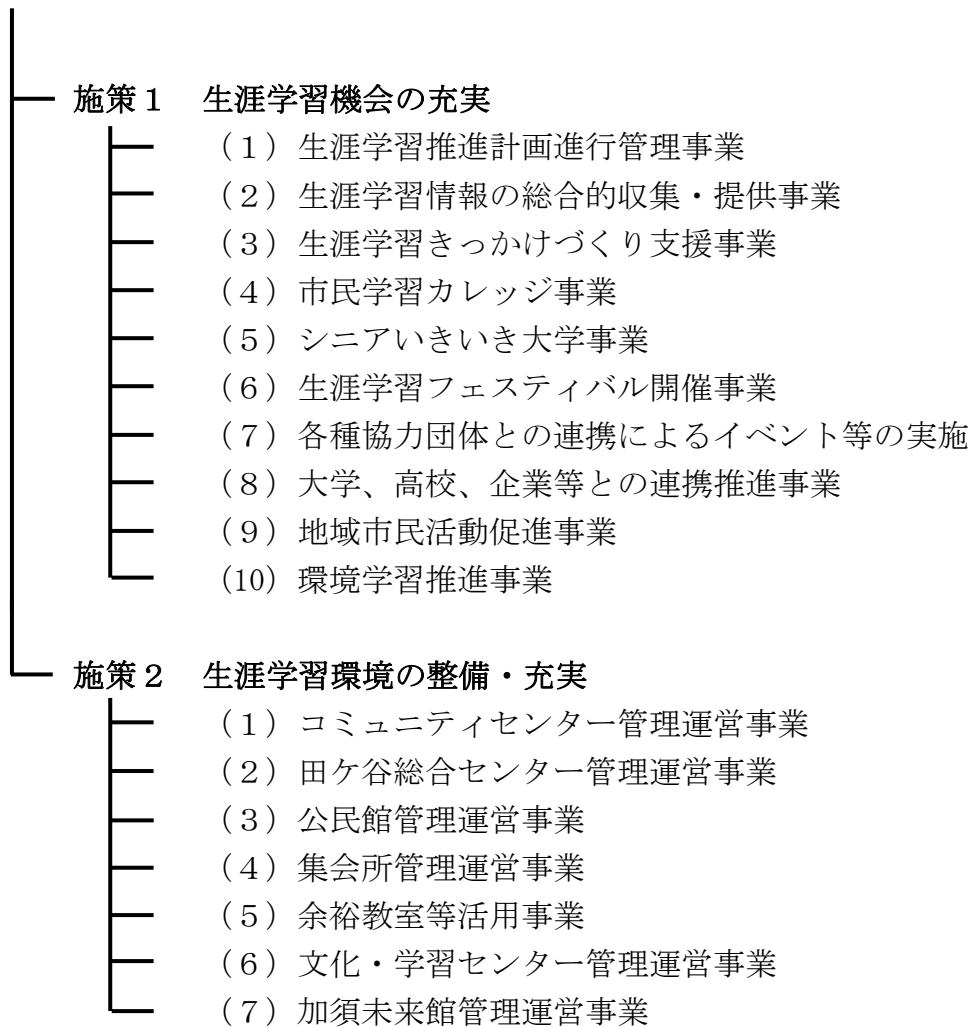
学校・家庭・地域及び関係機関の連携を図り、青少年団体の育成、家庭教育の充実及び青少年活動を支援することにより、地域の教育力の向上を推進します。

また、家庭・学校・職場・地域社会等の様々な場面で起こりうる人権問題の解決のために、人権教育や啓発活動を行い、差別や偏見のない人権尊重の社会の実現を目指します。

第5章 施策の体系

施策の体系図

基本目標1 生涯学習活動の推進



基本目標2 芸術文化の振興

- 施策1 芸術文化活動の振興
 - (1) 地域文化振興事業
 - (2) 地区文化祭振興事業
 - (3) 加須市郷土かるた大会開催事業
 - (4) 文化・学習センター芸術文化振興事業
- 施策2 「加須の偉人」の顕彰
 - (1) 偉人顕彰事業

基本目標3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

- 施策1 文化財の積極的な保存・活用の推進
 - (1) 文化財の保存と活用による地域活性化事業
 - (2) 騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業
 - (3) 加須インターネット博物館管理運営事業
 - (4) 伝統文化継承支援事業
 - (5) 指定文化財の調査・保護事業
 - (6) 発掘調査報告書の刊行事業
 - (7) 文化財の普及・啓発事業
 - (8) 「浮野の里」自然環境保全事業
 - (9) オニバス保護活用事業

基本目標4 読書活動の推進

- 施策1 子ども読書活動の推進
 - └ (1) 絵本との親子ふれあい推進事業
 - └ (2) ブックトーク・おはなし会開催事業
- 施策2 市民の読書活動の推進
 - └ (1) 図書資料整備充実事業
 - └ (2) 図書館管理運営事業
 - └ (3) 図書館まつり開催事業

基本目標5 家庭や地域で健やかな 子どもを育む取組の推進

- 施策1 家庭教育の支援
 - └ (1) 家庭の学びと地域の絆推進事業
- 施策2 青少年の健全育成
 - └ (1) 青少年健全育成事業
 - └ (2) 成人式開催事業
- 施策3 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
 - └ (1) まちかど美術館推進事業
 - └ (2) あいさつふれあい推進事業
 - └ (3) 子どもの居場所づくり事業
 - └ (4) かぞ子ども大学事業
- 施策4 人権教育の推進
 - └ (1) 高齢者・女性・人権教育学級開催事業
 - └ (2) 人権教育推進事業

第6章 基本目標の実現に向けた施策

基本目標1 生涯学習活動の推進

施策1 生涯学習機会の充実

市民の学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援するため、生涯学習セミナー（講座）の充実を図ります。

また、60歳以上の市民の学習ニーズに応えるとともに、その力を社会に活かし、長寿社会を明るく活力に満ちたものとするため、平成国際大学と連携して、加須市シニアいきいき大学の充実を図ります。

さらに、生涯学習活動で学んだ知識や経験を地域社会で活かせる機会の充実を図ります。

事業名	生涯学習推進計画進行管理事業		担当課	生涯学習課
取組内容	生涯学習の基本施策や生涯学習事業の進行状況の把握や管理を行う。また、生涯学習推進計画の取組内容の評価や意見を確認するため、生涯学習推進会議を開催する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	事業達成度における全事業数に対する「概ね達成」「達成」の割合	91%	95%	計画の進捗状況の把握や点検評価をし、適切に進行管理を行う。

事業名	生涯学習情報の総合的収集・提供事業		担当課	生涯学習課
取組内容	関係各課と連携し情報の提供を行い、生涯学習の学習機会（市民学習カレッジ、シニアいきいき大学等）、クラブ・サークル情報、各種イベント情報、市民の学習成果などを掲載した情報紙を作成し、広く市民に周知（全戸配布）し、学習情報を提供する。 また、ホームページを一層充実させることにより、積極的な情報提供を行うことで、市民との情報の共有を図る。 さらに、市内で活動しているクラブ・サークルの活動情報を収集・管理し、希望者に情報の提供を行う。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R 7)	取組方向
	生涯学習情報紙年間発行回数	13 回	13 回	掲載内容の充実を図る。(やってみませんか 12 回、ライフステージ 1 回)
	クラブ・サークル登録団体数	415 団体	440 団体	サークル化、活動の支援及びクラブ・サークル活動情報の収集・管理を行う。

事業名	生涯学習きっかけづくり支援事業		担当課	生涯学習課
取組内容	学習活動の深まりを目的に、市民の学習のきっかけづくりを支援する。公民館や各文化・学習センターにおいて、地域の課題をテーマとした学習機会や世代間交流を考慮しながら、地域住民の学習ニーズに対応した講座を開催する。 また、豊かな知識や経験を有する市民に市民講師になって地域で活躍していただくとともに、各種セミナー（講座）やイベントで市民講師の積極的な活用を行う。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	公民館講座受講率	71%	80%	必要性の高いセミナー（講座）を取り入れ、受講率の向上を図る。
	市民講師登録者数	238 人	300 人	登録者数の増加及び活用の促進を図る。

事業名	市民学習カレッジ事業		担当課	生涯学習課
取組内容	公民館や文化・学習センター等と連携し、「きっかけづくりセミナー」「趣味的セミナー」「現代的・社会的課題セミナー」「まなびのセミナー」を総合的に取入れた幅広いセミナーを実施する。 また、市民の多様なニーズに応えるため、学習相談機能及び体制の充実を図り、積極的なPRを行う。 さらに、市民ボランティアである生涯学習市民企画委員と協働し、生涯学習セミナー（講座）やイベントの企画運営、地域社会を通じた学習成果活用による、市民の自己実現活動を支援する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	市民学習カレッジセミナー受講率	69%	80%	セミナー内容の充実、関係部署と連携を図り、受講率の向上を図る。
	生涯学習市民企画委員数	17 人	20 人	生涯学習市民企画委員を募集し、増員を図る。

事業名	シニアいきいき大学事業		担当課	生涯学習課
取組内容	平成国際大学と連携を図り、60歳以上の市民を対象に学部・コースを開設し、同大学の教授等を講師とするなど、大学と協働して実施する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	シニアいきいき大学受講定員	210 人	230 人	平成国際大学と連携して専門的な講義を実施する。
	シニアいきいき大学受講生の受講率	78%	90%	平成国際大学と連携して講義内容を充実し、受講率の向上を図る。

事業名	生涯学習フェスティバル開催事業		担当課	生涯学習課
取組内容	学習成果発表の場として、市内で活躍している市民講師、サークル及びセミナー受講生等の学習活動や創作活動を紹介するなど、生涯学習フェスティバルを開催する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	生涯学習フェスティバル来場者数	2,374 人	2,900 人	運営方法、内容等を検討し、参加者の増加を図る。

事業名	各種協力団体との連携によるイベント等の実施		担当課	生涯学習課
取組内容	生涯学習市民企画委員や文化祭実行委員会等の各種協力団体が連携をして、団体の持つ学習資源を活用することで内容の充実を図りながら、イベント等を実施する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	連携する各種協力団体数	16 団体	16 団体	各種協力団体との連携により、学習資源として活用する。

事業名	大学、高校、企業等との連携推進事業		担当課	政策調整課
取組内容	地元の大学や高校、企業などと幅広い連携を図りながら、産・学・官連携による事業を推進します。(H24.1.17 平成国際大学と連携協定締結、R2.11.12 市(行田市、加須市及び羽生市)1 商工会議所(行田)、3 商工会(加須市商工会、羽生市商工会及び南河原商工会)3 大学(埼玉純真短期大学、平成国際大学及びものづくり大学)の連携協力協定締結)			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	大学、高校、企業等との連携事業数	31 事業	35 事業	様々な取組に対し、市と大学や高校、企業等が連携を図る。

事業名	地域市民活動促進事業		担当課	市民協働推進課
取組内容	市民活動ステーション（くらくら館）を拠点として、市民の自主的・主体的なまちづくり活動への参加を促進する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	市民活動ステーション年間利用者数	4,888 人	5,250 人	情報提供や相談体制の充実により、活用促進を図る。
	市民活動ステーション登録団体数	160 団体	167 団体	情報提供や相談体制の充実により、活用促進を図る。

事業名	環境学習推進事業		担当課	環境政策課
取組内容	日常における環境問題について理解を深め、環境に配慮した実践活動につなげるため、環境フォーラムや自然観察会、セミナー（講座）等を開催する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	環境フォーラム参加者数	144 人	200 人	ニーズにあった環境学習課題をテーマとする。

施策2 生涯学習環境の整備・充実

本市には、文化・学習センターや市民プラザ、公民館、コミュニティセンター、加須未来館、郷土資料館様々な生涯学習関連施設があります。市民がこれらの施設を有効活用するためには、施設間で十分に連携を行う必要があります。

施設利用者の安全性や利便性、学習環境の向上を図るため、施設の適正な維持管理に努めるとともに施設の充実に努めます。また、学校施設の有効活用を図ります。

事業名	コミュニティセンター管理運営事業		担当課	市民協働推進課
取組内容	地域の拠点施設として、多くの市民が安全安心に利用できるよう、施設の適正な維持管理を行い、地域コミュニティ活動の推進を図る。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	コミュニティセンター利用者数	184,972 人	193,800 人	管理運営及び活用の促進を図る。

事業名	田ヶ谷総合センター管理運営事業		担当課	人権・男女共同参画課
取組内容	福祉の向上及び人権啓発のための住民交流の拠点施設としての活用の促進を図り、安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理、事業運営を行う。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	施設利用者数	14,558 人	15,000 人	管理運営、及び利便性の向上を図る。

事業名	公民館管理運営事業		担当課	生涯学習課
取組内容	地域に密着した施設の管理運営を適切に実施する。 地域住民のコミュニティ活動や行政サービスの拠点としての活用、促進を図るため、コミュニティセンター化を推進する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	公民館の年間利用者数	132,009 人	132,000 人	各公民館にて、施設の管理運営及び活用、促進を図る。

事業名	集会所管理運営事業		担当課	生涯学習課
取組内容	各地区の市立集会所施設における保守・修繕等の維持管理を図り、市民に身近な学習の場や交流の場として活用されるよう、利便性の向上を図る。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	集会所年間利用者数	12,037 人	12,100 人	管理運営及び利便性の向上を図る。

事業名	余裕教室等活用事業		担当課	生涯学習課
取組内容	各小中学校における余裕教室や一時利用可能教室の活用の推進を図る。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	余裕教室利用団体数	4 団体	4 団体	活用の P R や利用内容を検討する。

事業名	文化・学習センター管理運営事業		担当課	文化・学習センター
取組内容	市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点施設として、安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理、事業運営を行う。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	4 施設延べ利用者数	225,259 人	249,000 人	管理運営及び活用の促進を図る。
	加須文化・学習センターの平均稼働率	49%	50%	管理運営及び活用の促進を図る。
	騎西文化・学習センターの平均稼働率	49%	50%	
	北川辺文化・学習センターの平均稼働率	58%	59%	
	大利根文化・学習センターの平均稼働率	59%	60%	

事業名	加須未来館管理運営事業		担当課	文化・学習センター
取組内容	加須未来館の施設管理、事業運営を行い、科学体験学習を推進する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	プラネタリウム観覧者数	12,590 人	17,500 人	魅力ある学習内容の検討や情報を周知し、入館者数の増加を図る。

基本目標2 芸術文化の振興

施策1 芸術文化活動の振興

市民が主体となった芸術文化活動を支援するため、各地域文化祭の開催や県展出品作品の展示などを行い、多くの市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供します。

また、各地域の文化・学習センターや公民館等で文化祭・芸術文化イベントを開催し、市民が芸術文化に触れたり、自らの作品を披露したりできる機会を創出します。

さらに、加須市郷土かるた大会を開催し、子どもたちや市民の郷土愛を育みます。

事業名	地域文化振興事業			担当課	生涯学習課
取組内容	市民が多くの文化・芸術に触れる機会をつくとともに、多くの市民が参加することにより豊かな感性と創造力に富んだ芸術文化の振興を図る。				
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法	
	各地域文化祭の来場者数	18,600 人	20,900 人	各種文化団体等と協働し、実施する。	

事業名	地区文化祭振興事業			担当課	生涯学習課
取組内容	生涯学習講座及び各地区で活動するクラブ・サークルの学習成果を発表・展示することにより、市民の学習意欲を高めるとともに、交流を深める。				
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法	
	地区文化祭の来場者数	10,601 人	11,300 人	各公民館にて、運営方法、内容等を検討し、参加者の増加を図る。	

事業名	加須市郷土かるた大会開催事業		担当課	生涯学習課
取組内容	加須市郷土かるたの普及を図るとともに、伝統文化や加須の偉人のかるたを活用して、広く市民に啓発する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	大会参加者数	543 人	520 人 (定員)	加須市郷土かるた大会を開催し、参加者の増加を図る。

事業名	文化・学習センター芸術文化振興事業		担当課	文化・学習センター
取組内容	プロの文化団体やアーティストの公演を実施し、市民が一流の芸術作品に触れる機会を設けるとともに、多くの市民が芸術文化活動に主体的に参加し、その活動の成果を発表する機会を図る。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	文化・学習センター自主公演事業来場者	3,431 人	5,800 人	文化・芸術に触れる機会を設ける。自らの活動参加により創造性の育成、芸術文化の振興を図る。

施策2 「加須の偉人」の顕彰

偉人ごとの講演会やイベントにおけるパネル展示を行い、斎藤与里、河野省三、田中正造、下總皖一、田口和美、谷山豊、若林珅蔵の7名の偉人の功績を顕彰するとともに、市民としての誇りとして後世に受け継ぐことに努めます。

事業名	偉人顕彰事業			担当課	生涯学習課
取組内容	加須の偉人について、様々なイベント時におけるパネル展の同時開催をし、パンフレットを配布するなど、顕彰活動を行う。				
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法	
	偉人パネル展開催回数	7 回	8 回	展示内容の工夫やイベントにおけるパネル展の周知を徹底する。	

基本目標3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成

施策1 文化財の積極的な保存・活用の推進

市内の文化財や民俗資料、伝統文化を保存・活用するために文化財の調査や資料の収集を行い、必要に応じて保護・修理を行います。文化財の保護・継承活動を行う所有者や保護団体に対し、その活動を支援します。

また、市内の文化財等を、騎西郷土史料展示室（騎西城）や北川辺郷土資料館で展示するとともに、「加須インターネット博物館」での紹介や文化財説明板の設置やパンフレットの刊行などを実施し、広く普及啓発を図り、文化財の活用を通じた地域活性化を図ります。

事業名	文化財の保存と活用による地域活性化事業		担当課	生涯学習課
取組内容	市内の文化財を調査・保存・活用することにより、後世に継承する。地域に残されている文化財の活用に取り組むことで、地域の活性化を図る。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	指定文化財管理者への謝金交付件数	162 件	165 件	指定文化財を保護し、管理者を支援する。

事業名	騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業		担当課	生涯学習課
取組内容	騎西郷土史料展示室（騎西城）では、考古資料を収集し、藤まつり、あじさい祭りや文化祭の時期に合わせ公開する。北川辺郷土資料館では、水と暮らしに関する資料を収集し公開する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	両館への年間来館者数	3,209 人	3,500 人	適切な管理運営及び良好な環境づくりに努める。
	団体への展示解説件数	8 件	8 件	郷土史の学習機会を提供する。

事業名	加須インターネット博物館管理運営事業		担当課	生涯学習課
取組内容	インターネット上の総合博物館として、郷土の歴史・文化を網羅した動画や画像を活用し、情報を提供する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	インターネット博物館へのアクセス回数	13,346 件	13,500 件	掲載内容の充実及び獅子舞の奉納日程等を情報発信する。

事業名	伝統文化継承支援事業		担当課	生涯学習課
取組内容	各種伝統文化の継承団体の活動支援を行う。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	伝統文化保存会会員者数	322 人	320 人	各保存会の支援を行う。(獅子舞連合会、玉敷神楽保存会、武州加須囃子)

事業名	指定文化財の調査・保護事業		担当課	生涯学習課
取組内容	加須市内に所在する計１９５件（令和２年現在）の国・県・市指定文化財を調査・保護し、後世に継承する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	指定文化財の状況調査及び助言	11 件	15 件	状況調査や管理者への助言や支援を行う。

事業名	発掘調査報告書の刊行事業		担当課	生涯学習課
取組内容	これまでに騎西地域で実施した埋蔵文化財の発掘調査（騎西城跡や萩原遺跡ほか）について、その成果をまとめた記録である調査報告書を順次刊行する。そのことにより将来にわたり記録を保存し、かつ広く共有し今後の活用に供する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	報告書件数 (累積)	13 冊	19 冊	未刊の調査報告書を刊行する。

事業名	文化財の普及・啓発事業		担当課	生涯学習課
取組内容	身近な歴史・文化財に興味や愛着を持ち、文化財についての理解・関心を深めてもらうよう、普及・啓発を図る。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	文化財への質問 に対する回答件 数	86 件	90 件	文化財に関する質問 に対し、資料及び現 地調査し回答する。

事業名	「浮野の里」自然環境保全事業		担当課	環境政策課
取組内容	トキソウが自生する浮野を保護し、トキソウ開花後の種子を採取し増殖を図る。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	自生地を観察 回数	12 回	12 回	毎月 1 回観察を行 い、自生植物の生育 状況や浮野の環境 変化を調査する。

事業名	オニバス保護活用事業		担当課	北川辺総合支所 地域振興課
取組内容	絶滅危惧種であるオニバス及び同所に自生する水性植物の保護育成を行い、豊かな自然環境の保全を図り、観光資源としての活用を図る。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	オニバス自生地来 訪者数	1,041 人	1,550 人	自生地の情報発信 や管理団体の支援 を行う。

基本目標4 読書活動の推進

施策1 子どもの読書活動の推進

子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣が身につけるために、子どもに読書活動をより身近に感じられる環境の整備を図ります。

事業名	絵本との親子ふれあい事業			担当課	図書館課
取組内容	親子で絵本に親しむ家庭の割合を高め、乳児の健やかな心の成長を支援する。				
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法	
	ブックスタート事業の満足度（ブックスタートアンケート調査）	99%	100%	9～10か月健診時に乳児とその保護者に絵本と絵本リストをプレゼントする。	

事業名	ブックトーク・おはなし会開催事業			担当課	図書館課
取組内容	学校やボランティア等と連携して、図書館内外で子どもが本や物語の楽しさと出会う機会をつくり、保護者に対しては本の楽しさを子どもたちに伝える大切さを学ぶ機会をつくり、子どもの読書活動を推進する。				
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法	
	ブックトークの年間実施回数	23 回	28 回	子ども達にテーマに沿った本の紹介を行う。	

施策2 市民の読書活動の推進

読書は知識を得るだけでなく、読解力を高めることができ、文字情報をもとに想像を膨らませ、考えを構築することができます。

市民一人ひとりが生涯にわたり、読書に親しむ環境づくりを推進します。

事業名	図書資料整備充実事業		担当課	図書館課
取組内容	読書活動に関する市民の多様なニーズに対応するため、蔵書の充実を図りながら、市民の読書活動を推進する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	市民一人当たりの蔵書数	5.25 冊	5.30 冊	予約リクエスト・時事・出版情報等により、利用者ニーズに対応した蔵書の充実を図る。

事業名	図書館管理運営事業		担当課	図書館課
取組内容	図書館情報システムを活用して図書館資料の貸出・返却・予約処理等を効率的に行うとともに、他の公共図書館等との連携・協力を推進するなど利用者サービスの充実を図り、図書館の利用を促進する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	市民一人当たりの年間貸出冊数	4.86 冊	5.30 冊	良好な環境づくりに努め、図書館資料の貸出冊数の増加を図る。

事業名	図書館まつり開催事業		担当課	図書館課
取組内容	図書館利用への関心を高め、利用者の増加と読書の推進を図るためのイベント等を実施する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	図書館まつり参加者数	3,455 人	3,600 人	図書館利用への関心を高め、利用者の増加と読書の推進を図る。

基本目標5 家庭や地域での健やかな子どもを育む取組の推進

施策1 家庭教育の支援

家庭・地域の絆づくりの一層の推進のため、埼玉県家庭教育アドバイザーと連携して家庭の教育力と地域の教育力の向上を図ります。

事業名	家庭の学びと地域の絆推進事業		担当課	生涯学習課
取組内容	「家庭の教育力」と「地域の教育力」の向上を図るため、就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級を子育て中の保護者を対象に開催し、子どもと親の育ちの学びの機会を充実する。			
指標	指標名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」の延べ参加者数	2,085 人	2,300 人	埼玉県家庭教育アドバイザーと連携し、家庭教育学級等の開催をする。

施策2 青少年の健全育成

地域で子どもを育てる気運の醸成と地域の教育力の向上を図るため、各地域で活動する青少年健全育成団体の活動を支援するとともに、加須げんきプラザなど関係機関と連携し、地域と一体となって健やかな子どもを育む取組を推進します。

事業名	青少年健全育成事業		担当課	生涯学習課
取組内容	青少年の健全な発達および地域の教育力向上を図るため、青少年関係団体の活動を支援し、協働で事業を行う。			
指標	指標名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	少年の主張、講演会の観客来場人数	569 人	600 人	市内の小中学校、県立騎西特別支援学校及び開智未来中学校代表者により少年の主張大会を開催する。

事業名	成人式開催事業		担当課	生涯学習課
取組内容	青少年健全育成のため、新成人を祝い、励まし、成人としての意識の高揚と自覚を促す。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	成人式出席率	71%	85%	成人式実行委員会との協議・運営を実施する。

施策3 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

学校の一層の活性化と家庭や地域の教育力の向上を図るため、学校・家庭・地域及び関係機関が一体となった子どもの健全育成に努め、地域密着型の教育を推進します。

また、市内各地域の商店等に小学生等の作品を展示し、市民が鑑賞することで、学校・家庭・地域の連携を図るとともに、世代間の交流の機会を提供します。

事業名	まちかど美術館推進事業		担当課	生涯学習課
取組内容	市内各小学校及び各地域商店街等の協力により、児童の絵画作品を商店等に展示する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	まちかど美術館開催回数	5 回	5 回	商店街イベントとあわせて実施する。

事業名	あいさつふれあい推進事業		担当課	学校教育課
取組内容	教育機関、地域、行政機関等が一体となった市を挙げた「加須市あいさつ運動～あいさつ さわやか かぞのまち～」を推進する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	地域の方にあいさつをしている児童生徒の割合	82.6%	90.0%	年間を通した継続的な取組及び5月と10月に強化期間を設定しての取組を実施する。

事業名	子どもの居場所づくり事業		担当課	子育て支援課
取組内容	放課後児童健全育成事業（学童保育）や放課後子ども教室以外の新たな「子どもの居場所」を、地域の公共施設内に創出し、児童館のない地域でも児童館機能の一部を果たしています。これにより、安全で安心な小学生の放課後の過ごし方の選択肢を広げています。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	小学生の居場所を創出した公共施設の数	5 か所	6 か所	関係課等と情報を共有し、子どもの居場所を確保する。

事業名	かぞ子ども大学事業		担当課	子育て支援課
取組内容	大学の学生ボランティアや地域ボランティアの協力を得て、入学・修了式のほかに年間5回程度の授業を行います。 また、県内の子ども大学が一堂に会し事業の成果を発表する「発表・交流会」に参加します。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	子ども大学かぞ参加者数	54 人	50 人 (定員)	子ども大学かぞ実行委員による運営を行う。

施策4 人権教育の推進

学校、家庭、地域、企業等も含めた市民総ぐるみの協働により、あらゆる場・機会を通じて、同和問題をはじめとする多種多様な人権教育・啓発活動を行い、市民一人ひとりが人権問題に対する正しい理解と認識を深めることができるように努めます。

人権問題の解決のためには、市民一人ひとりが相手を思いやる気持ちを持ち、差別や偏見のない住みよい社会を実現するために、多様な場での学習機会を通して、人権教育を推進します。

事業名	高齢者・女性・人権教育学級開催事業		担当課	生涯学習課
取組内容	高齢者学級では、健康で生きがいのある人生を見出すため、仲間づくりや学習の成果を地域で活かすための活動の場を提供する。 女性学級では、女性としての知識と教養を高め、健やかに充実した生活が送れるよう学習するための場を提供する。 人権教育学級では、人権問題についての正しい理解と認識を深め、差別のない明るい社会づくりを目指すための学習の場を提供する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	各学級受講者参加 延べ人数	3,939 人	4,000 人	各公民館で開催する。

事業名	人権教育推進事業		担当課	生涯学習課
取組内容	市民が人権感覚を身につけ、さまざまな人権問題の解決に資することができるように、各種研修会や講演会を実施する。			
指 標	指 標 名	現状値(R 元)	目標値(R7)	取組方法
	人権教育推進事業への延参加者数	5,522 人	6,000 人	人権教育に関する研修会や講演会を開催する。

第7章 計画の推進・評価体制

1 計画の推進体制

「生涯学習」の意味は広範であり、その取組みは生涯学習課にとどまらず様々な部署に関係してきます。本計画を効果的に実行していくためには、教育委員会のみならず、庁内の枠組みを超えた連携・協力に努める必要があります。

また、本計画の推進のため様々な取組を実施し、学習の主体となる市民や、学習提供者であるクラブ・サークル団体、地域、学校、関係部署など生涯学習に関わる全ての主体との連携を図り計画を推進します。

2 計画の評価体制

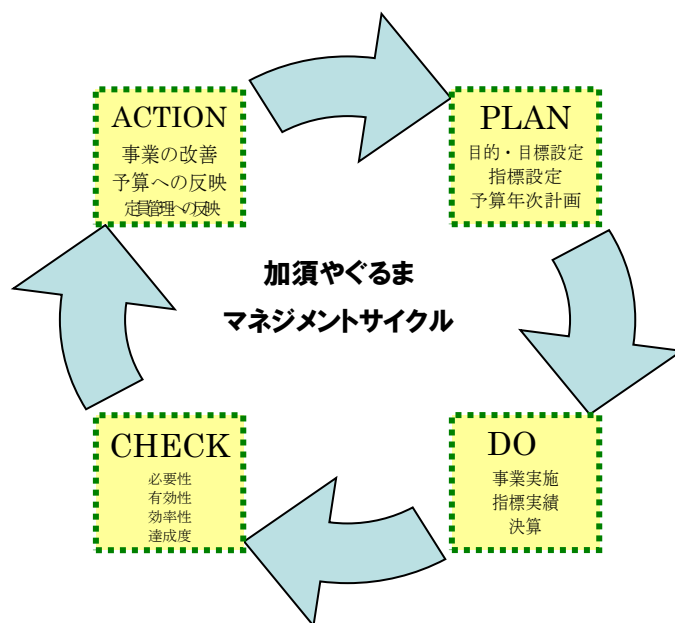
計画を推進するに当たり、計画（PLAN）→実行（DO）→評価（CHECK）→見直し（ACTION）という「加須やぐるまマネジメントサイクル」の考え方を踏まえ、事業の実施結果を評価します。

本計画では、施策ごとに指標を設定し、その評価を踏まえ、毎年度、加須市生涯学習推進会議において計画の進捗状況を検証します。

その際、設定した目標の達成状況の要因を振り返り、改善へのアクションを実行していきます。

※「加須やぐるまマネジメントサイクル」

総合振興計画と予算において事業の一元化を図り、PDCA マネジメントサイクルによる進行管理を行います。



資料

第3次加須市生涯学習推進計画策定の経過

実 施 日	概 要
令和元年12月 ～令和2年1月	「加須市の生涯学習活動に関する調査」の実施
令和2年2月～3月	「加須市の生涯学習活動に関する調査」回答の取りまとめ
令和2年4月～12月	生涯学習推進計画（案）の作成
令和2年7月22日	令和2年度第1回加須市生涯学習推進会議開催 ・委員の委嘱
令和2年9月4日 ～令和2年9月17日	生涯学習推進計画（案）における内容の確認について ・事業担当各課へ依頼
令和2年10月26日	加須市総合振興計画策定に係る部門計画骨子の事前協議
令和2年11月6日 ～令和2年11月13日	生涯学習推進計画（案）における内容の確認について ・事業担当各課へ依頼
令和2年11月23日	令和2年第11回加須市教育委員会定例会にて協議
令和2年12月7日	令和2年度第2回加須市生涯学習推進会議開催 ・意見聴取
令和2年12月14日 ～令和2年12月22日	生涯学習推進計画（案）における内容の確認について ・事業担当各課へ依頼
令和3年1月29日	令和3年第1回加須市教育委員会定例会にて協議
令和3年2月12日	第29回加須市政策会議
令和3年3月26日	令和3年第3回加須市教育委員会定例会

加須市生涯学習推進会議委員名簿

(敬称略・順不同)

No.	所 属 機 関 団 体 等	氏 名	備 考
1	加須市北川辺文化協会会長	竹田 常子	
2	加須市美術連盟会長	赤荻 竹一	
3	加須市文化財保護審議会委員長	田沼 宣喜	
4	加須市スポーツ推進委員協議会会長	秋葉 正之	
5	加須市図書館協議会委員	大谷 貴子	
6	加須市男女共同参画審議会会長	黒川 スミ子	
7	施設利用者代表 加須市食生活改善推進協議会支部長	吉澤 君子	
8	埼玉県家庭教育アドバイザー	栗原 幸子	副会長
9	平成国際大学法学部教授	坂本 健蔵	
10	加須げんきプラザ所長	小西 康雄	
11	青少年育成加須市民会議会長	中根 將行	会 長
12	加須市文化団体連合会会長	高橋 近好	
13	加須市生涯学習市民企画委員委員長	阿瀬見 省司	
14	加須市大利根子ども会育成連絡協議会	瀬下 京子	
15	加須市公民館連絡協議会会長	山田 瑛一	

加須市内の生涯学習関連施設一覧

No.	施 設 名	住 所	電話番号
《 公 民 館 》			
1	加須公民館（加須コミュニティセンター）	加須市南町3番51号	0480-62-0793
2	不動岡公民館（不動岡コミュニティセンター）	加須市不動岡2丁目9番75号	0480-62-7203
3	三俣公民館（三俣コミュニティセンター）	加須市北小浜780番地1	0480-62-5367
4	礼羽公民館	加須市馬内623番地	0480-62-7597
5	大桑公民館	加須市大桑2881番地1	0480-65-2201
6	水深公民館	加須市船越116番地	0480-65-3353
7	樋遣川公民館	加須市下樋遣川835番地1	0480-68-5940
8	志多見公民館	加須市志多見645番地	0480-61-5628
9	大越公民館	加須市大越1991番地	0480-68-6103
10	北川辺公民館	加須市麦倉1483番地	0280-62-3224
《 コミュニティセンター等 》			
11	川口コミュニティセンター	加須市川口2丁目12番地1	0480-65-9091
12	花崎コミュニティセンター	加須市花崎1丁目22番地16	0480-66-3981
13	南篠崎コミュニティセンター	加須市南篠崎2丁目1番地6	0480-65-3456
14	騎西コミュニティセンター	加須市騎西36番地1	0480-73-1111 (騎西総合支所)
15	種足コミュニティセンター	加須市中種足16番地2	
16	鴻荃コミュニティセンター	加須市鴻荃1114番地	
17	高柳コミュニティセンター	加須市日出安1395番地	
18	原道コミュニティセンター	加須市細間712番地	0480-72-1111 (大利根総合支所)
19	豊野コミュニティセンター	加須市豊野台1丁目345番地10	
20	田ヶ谷総合センター	加須市上崎2080番地1	0480-73-2501
《 文 化 施 設 》			
21	加須文化・学習センター（パストラルかぞ）	加須市上三俣2255番地	0480-62-1221
22	加須市市民総合会館（市民プラザかぞ）	加須市中央2丁目4番17号	0480-62-0200
23	騎西文化・学習センター（キャッスルきさい）	加須市根古屋633番地10	0480-73-3101
24	北川辺文化・学習センター（みのり）	加須市麦倉1473番地1	0280-61-2444
25	大利根文化・学習センター（アスタホール）	加須市旗井1461番地1	0480-72-1023

26	加須図書館	加須市中央2丁目4番17号	0480-61-8200
27	騎西図書館	加須市根古屋633番地10	0480-73-3178
28	北川辺図書館	加須市麦倉1473番地1	0280-62-4400
29	童謡のふる里おおとね図書館(ノイエ)	加須市琴寄597番地1	0480-78-2211
30	北川辺郷土資料館	加須市麦倉487番地	0480-62-1223 (生涯学習課)
31	加須未来館	加須市外野350番地1	0480-69-2160
《 産 業 関 連 施 設 》			
32	加須市地域資源管理施設(グリーンファーム加須)	加須市上三俣1728番地	0480-68-3801
33	北川辺ライスパーク	加須市麦倉454番地	0280-62-4349
34	道の駅かぞわたらせ	加須市小野袋1745番地1	0280-62-5555
35	童謡のふる里おおとね農業創生センター	加須市佐波258番地1	0480-72-2111
《 体 育 施 設 》			
36	加須市民体育館	加須市下三俣590番地	0480-62-6123
37	加須南篠崎体育館	加須市南篠崎2丁目1番地7	0480-65-3456 (南篠崎コミュニティセンター)
38	騎西総合体育館(ふじアリーナ)	加須市外川355番地	0480-73-7610
39	北川辺体育館	加須市柏戸2037番地	0280-62-1590
40	大利根文化体育館	加須市北下新井684番地1	0480-72-5488

連携する県立施設及び大学一覧

No.	施 設 名	住 所	電話番号
1	埼玉県立加須げんきプラザ	加須市花崎456番地	0480-65-0660
2	平成国際大学	加須市水深大立野2000番地	0480-66-2100
3	埼玉純真短期大学	羽生市下岩瀬430番地	048-562-0711
4	ものづくり大学	行田市前谷333番地	048-564-3200

第3次加須市生涯学習推進計画

令和3年3月発行

発行 加須市

編集 加須市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課

〒347-0006 加須市上三俣2255番地

電話 0480-62-1223